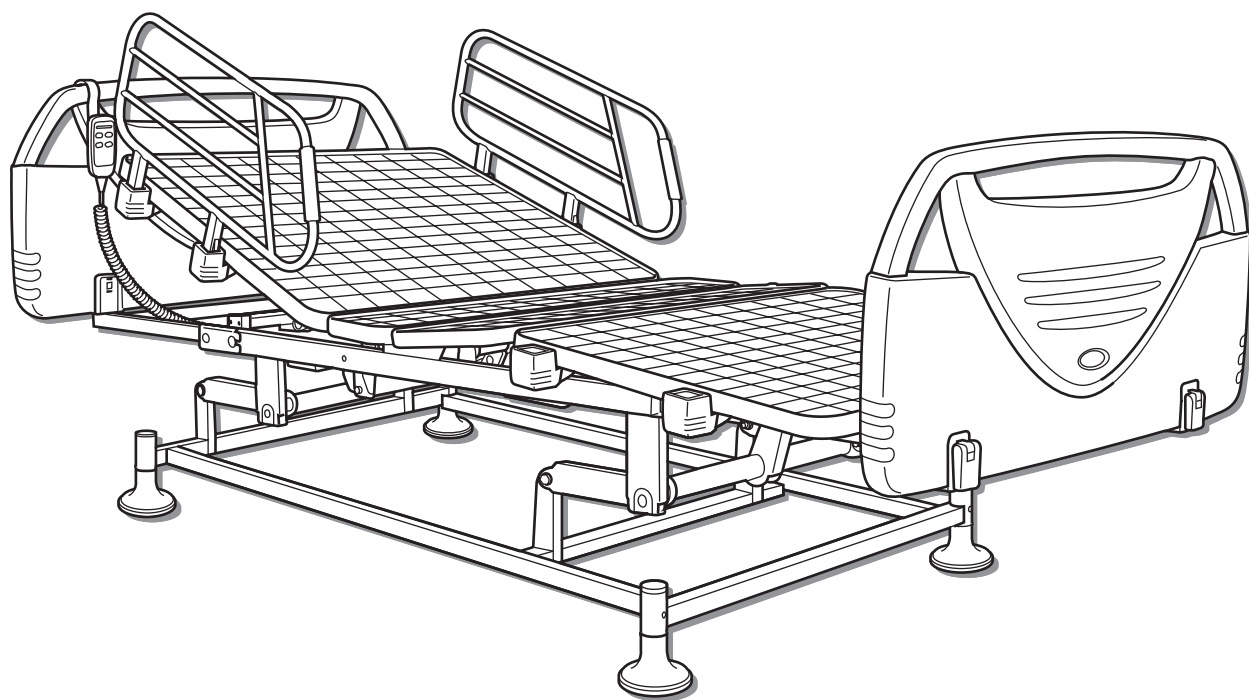
廃盤

KĒPROCORE®

ケプロコア-850Rシリーズ（852R/853R）

取扱説明書

このたびは、ケプロコア850Rシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立、分解の方法や使用方法などを記入しています。

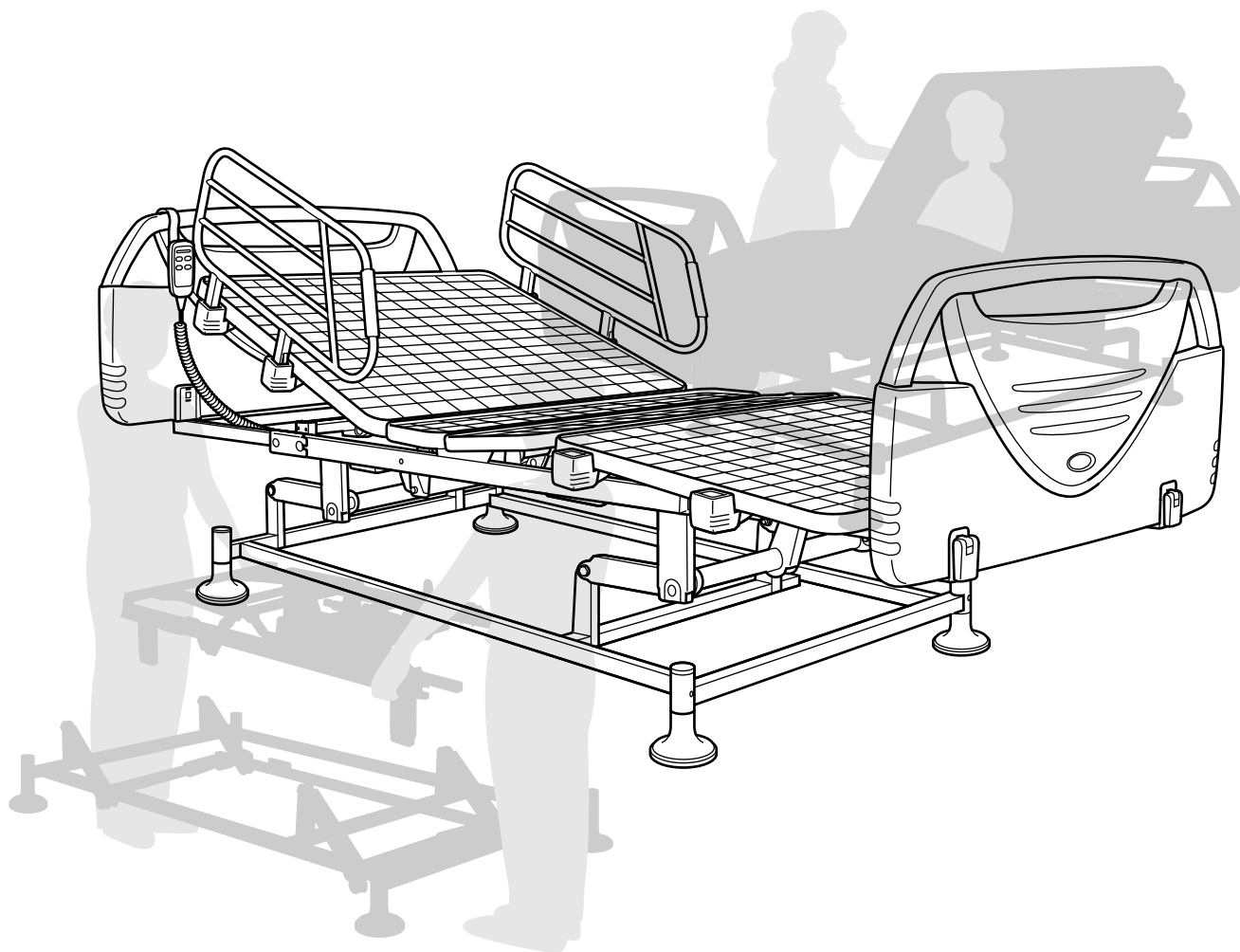
- ベッドをお使いになる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
- ベッドで療養される方だけでなく、介護する方もこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書はお読みになったあとも、いつでも見られる場所に保管してください。

販売店、レンタル業者の方へのお願い

この取扱説明書は、必ず療養される方か介護される方へお渡しください。

シーホネンス株式会社

ベッドの使用目的

「ケプロコア 850R シリーズ」ベッドは、日常の生活動作が低下した方に対しての『生活支援』を目的として作られています。

ベッドの特長

1.快適＜ローアンドワイド＞。
　25cmの超低床高と、90cmのワイドマットレス幅（シングルサイズ時）。
2.人間工学に基づいたナチュラルラインを採用しています。
3.座位の圧迫を最小限にする＜スイングバックボトムシステム＞方式を採用しています。
4.ボタン操作でベッドポジションを自在にコントロールできます。
5.ヨーロッパで開発された、高性能リニアアクチュエーターを採用しています。
6.抗菌塗装で安全・衛生的。防塵防水規格で水や洗剤での清拭にも安心です。

もくじ

はじめに
必ずお読みください

とにかく
使ってみる

正しい
設置と組立て

もし
必要なとき

安全にお使いいただくために

必ずご使用前に、この**「安全にお使いいただくために」**をよくお読みになり、正しくお使いください。
製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、損害を未然に防止するためのものです。

表示と絵表示について

説明書の内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。

警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が生命にかかわるケガ、もしくは、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
感電注意	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図記号の中に具体的な注意内容（左の図の場合には「感電注意」）が描かれています。
分解禁止	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図記号の中に具体的な禁止内容（左の図の場合には「分解禁止」）が描かれています。

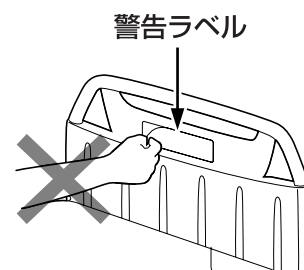
ベッド組立前、操作時には、下記の項目の「警告」および「禁止」を必ずお読みください。※表記中の（p0 ）は参照先ページを示しています。

- **●警告ラベルについて（p4 ）**
- **●ヘッドボード・フットボードについて（p5 ）**
- **●電源について（p5 ）**
- **●組立てについて（p6 ）**
- **●操作（動作時）について（p6 ～p7 ）**

警告ラベルについて

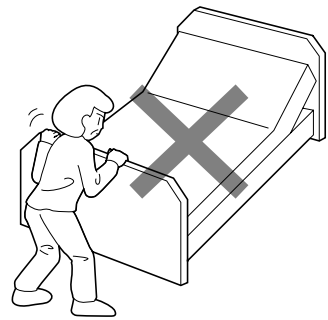
●警告ラベルをはがさない

警　告

事故、破損の原因となります。
ベッドをお使いの方に対して、特に注意していただきたいことをラベルにして、フットボードの内側に貼っています。
警告ラベルをはがしたり傷をつけたりしないでください。

ヘッドボード・フットボードについて

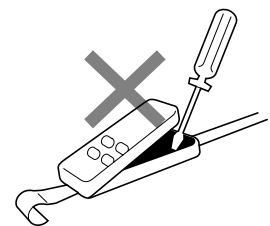
●ボードに荷重がかかるリハビリなどはしない

警　告

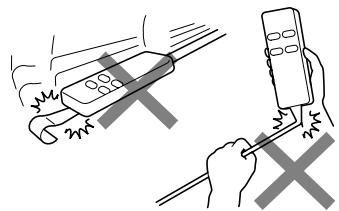
事故、破損の原因となります。
プラスチックボードは、身体をよりかけたり、腰をかけたりしても割れにくい柔らかい材質でできていますが、荷重がかかるリハビリなどを行うと大変危険です。
絶対にしないでください。

電源について

●分解、改造はしない

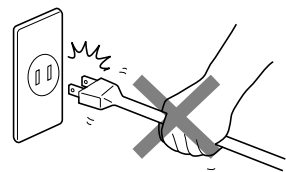
分解禁止

事故、破損の原因となります。
弊社指定の修理技術者以外の方は、手元スイッチや電源ボックスなどを分解したり改造、修理は絶対にしないでください。

●コードを傷つけない

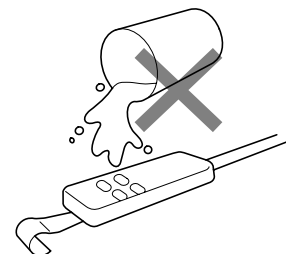
警　告

事故、破損の原因となります。
手元スイッチを落としたり、手元スイッチのコードや電源コードを強く引っ張ったり、ベッドを操作するときにコードを挟まないようにしてください。

●電源コードを持って抜かない

感電注意

故障、感電の原因となります。
電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って、引き抜いてください。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

●手元スイッチに水やジュースをこぼさない

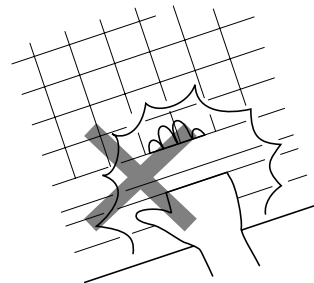
感電注意

感電、事故、破損の原因となります。
手元スイッチは防水仕様ですが、むやみに水やジュースをこぼさないでください。
万一、液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

安全にお使いいただくために

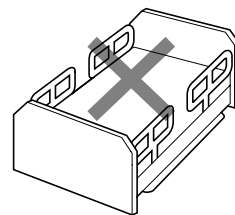
組立てについて

●手や指を挟まない

注　意

事故、ケガの原因となります。
手や指を挟まないように十分注意して組み立ててください。
※脚座を取付けるとき（p16 ）
※マザーユニットを取付けるとき（p16 ）
※座ボトムを取付けるとき（p19 ）
※背ボトムを取付けるとき（p20 ）
※フロントフレームを取付けるとき（p21 ）
※膝ボトム・脚ボトムを取付けるとき（p22 ）
※リアフレームを取付けるとき（p23 ）
※ヘッドボード・フットボードを取付けるとき（p25 ～26 ）
※オプションを取付けるとき（p29 ～p30 ）

●他社製品とは組み合わせない

注　意

事故、破損の原因となります。
マットレス、サイドレール、キャスターなどは他社製品を使わないでください。
必ず弊社適合商品をお使いください。（p28 ～p30）

操作（動作時）について

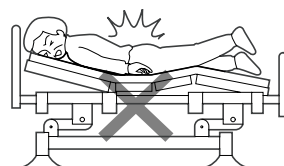
●ベッドを二人以上で使用しない

注　意

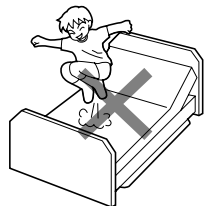
事故、破損の原因となります。
このベッドの最大使用者体重は120kg です。

●うつ伏せで背上げ操作をしない

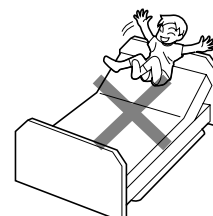
警　告

うつ伏せで寝た状態での背上げ操作は関節を逆さに曲げることになり、ケガの原因となります。

●踏み台代わりにしたり、ベッドの上で飛び跳ねない

警　告

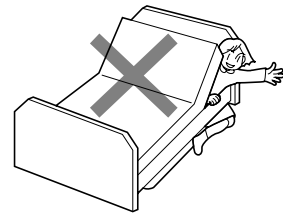
ベッドから転落、転倒してケガの原因となります。
特にお子さまにご注意ください。

●上がっている背ボトムや脚ボトムに乗らない

警　告

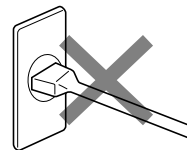
事故、破損の原因となります。

操作（動作時）について

●ベッドの中やフレームの間にもぐり込まない

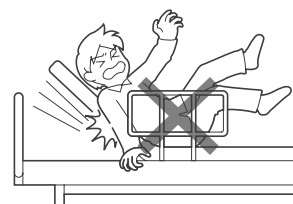
警　告

ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドレールとの間に頭、腕や足を挟んでケガの原因となります。
ベッドの中にもぐり込んだり、ベッドの中に頭、腕や足などを入れないこと。ベッドの下や周りに障害物がないか確認して操作してください。

●誤動作による事故を防ぐために

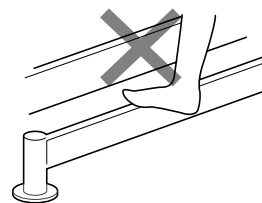
注　意

お子さまや操作が理解できないと思われる方がおひとりで手元スイッチにふれる可能性がある場合（介助する方の外出時など）には、電源プラグをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。

●手や足などを挟まれないように

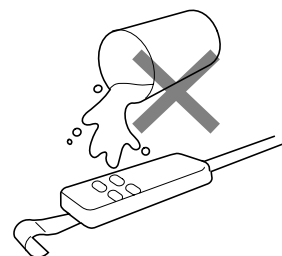
警　告

手や足を挟んでケガをします。
ベッドの操作時には、頭や腕、足をベッドの外に出して周辺の家具や他の福祉用具などに挟まれたりしないように十分注意してください。
特にベッド操作中は、ベッドフレーム、ボトムの下に手や足を入れないでください。

●足先をハイローベースユニットの下に置かない

警　告

足先を挟んでケガの原因となります。
ハイローベースユニットの上に足をかけたり、足先をハイローベースユニットの下に置いたりしないこと。

●手元スイッチを水などでぬらさない

感電注意

感電、事故、破損の原因となります。
誤って液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

●治療中の方は医師に相談してください

警　告

現在治療中の方は、ベッドの背上げや脚上げ操作によって症状を悪化させる可能性があります。
ベッドを使用する際はかかりつけの医師にご相談ください。

主要部のなまえとはたらき

背上げ膝連動切替えレバー

背ボトムのみと、背ボトムと膝ボトムが連動して動く膝連動の2種類選べます。
（p12 ）
※2 モーターのみ

フットボード

ボードストッパーを起こして、上に持ち上げると外れます。足の処置などに便利です。
（p25 ）

電源プラグ

（p18）

電源コード

（p18）

脚ボトム

（p22）

ボードストッパー

ヘッドボード、フットボードの左右に2 ケ所あります。
（p25 ～p26 ）

電源ボックスと電源ランプ

座ボトムと膝ボトムの裏面にあります。
（p18 ）

電源ボックス
電源ランプ

操作（動作）のしかた

手元スイッチについて

ベッドを操作する前に、電源プラグをコンセントに差し込んでください。（p18）

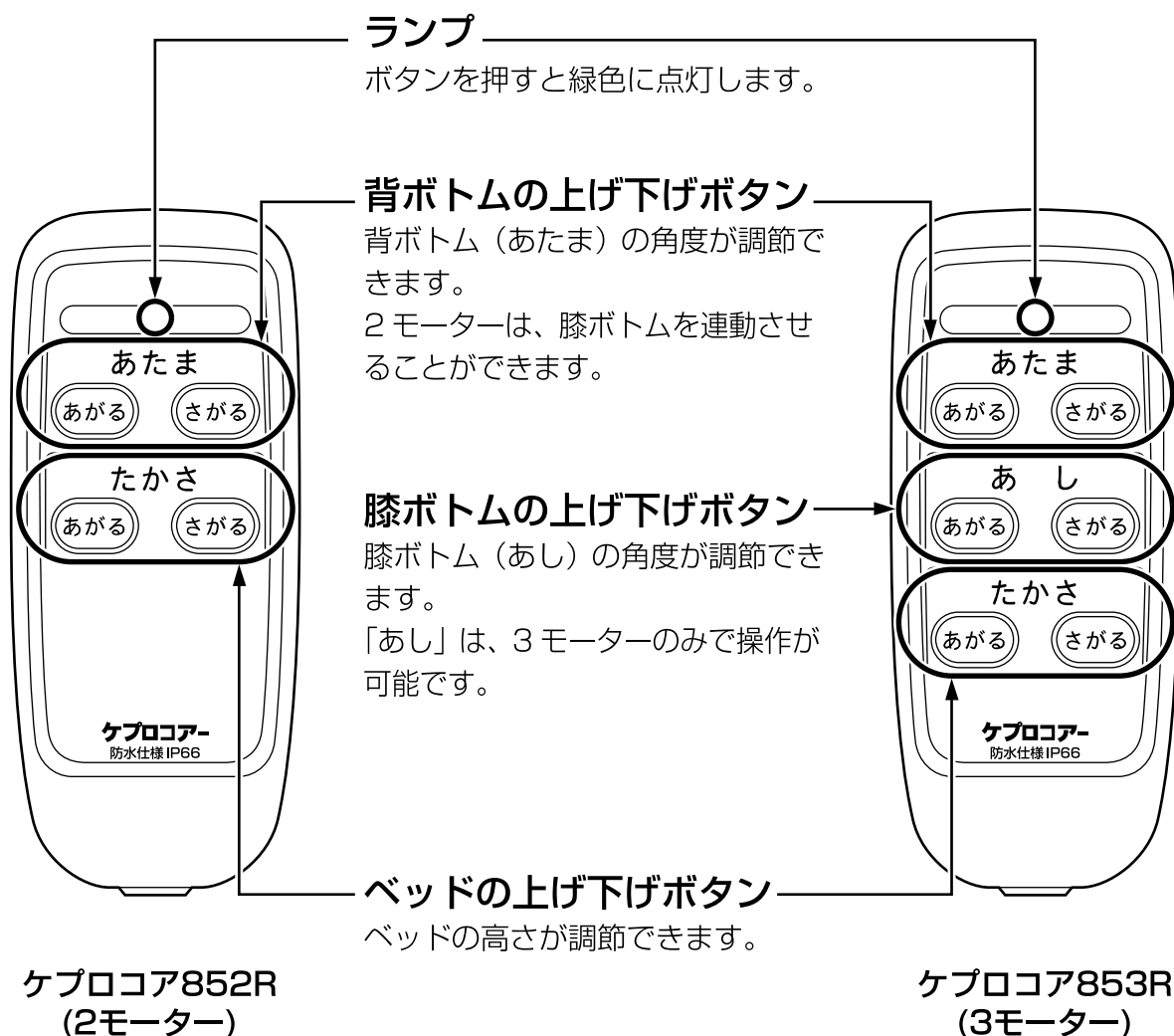
ランプ
ボタンを押すと緑色に点灯します。

背ボトムの上げ下げボタン
背ボトム（あたま）の角度が調節できます。
2モーターは、膝ボトムを連動させることができます。

膝ボトムの上げ下げボタン
膝ボトム（あし）の角度が調節できます。
「あし」は、3モーターのみで操作が可能です。

ベッドの上げ下げボタン
ベッドの高さが調節できます。

ケプロコア852R（2モーター）

ケプロコア853R（3モーター）

●手元スイッチを押しても下記のような症状が起きたら、「故障かな？と思ったら」（p35）を参照して点検してください。
　※ランプが点灯しない。
　※ベッドが動かない。
それでも直らない場合は、販売店にご連絡ください。

●モーターの連続使用時間は6分までです。6分以上の連続使用は行わないでください。
次に使用する場合は十分に時間をおいて使用してください。

お願い

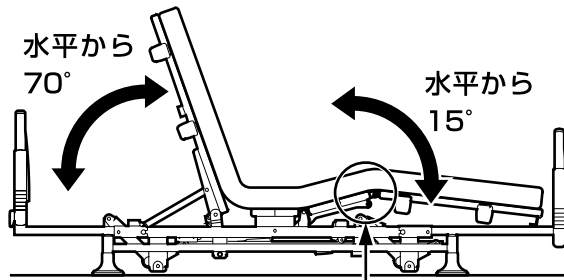
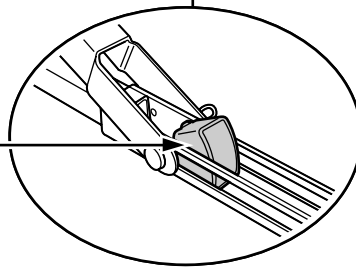
●お子さまや操作が理解できないと思われる方がおひとりで手元スイッチにふれる可能性がある場合（介助する方の外出時など）には、電源プラグをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。

●手元スイッチは防水仕様ですが、むやみに水やジュースをこぼすと、感電、事故、破損の原因となります。
万一、液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

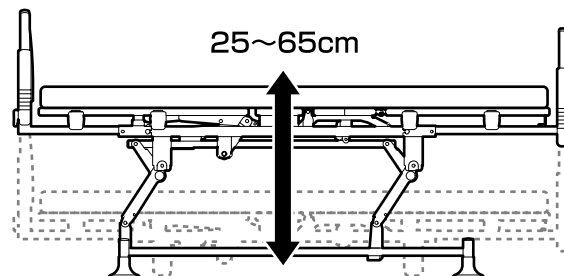
2 モーターの操作のしかた

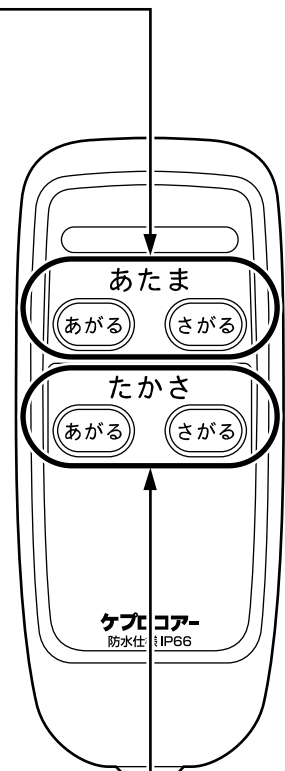
手元スイッチのボタンでベッドの背ボトム、ベッドの高さを無段階に調節できます。
ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。
必要な位置まで動かしてお使いください。
※ 別売りモーターを装着することで3モーターにすることができ、膝ボトムを個別に動かすことができるようになります。

●背上げ膝連動について

●ベッドから起き上がるとき
●ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

背上げ膝連動切替えレバーにより背上げのみと連動の切り替えができます。
(p12)

●背ボトムと膝ボトムが連動し、背ボトム70度、膝ボトム15度まで上がります。
●2モーターは、膝ボトムだけでの角度調節はできません。

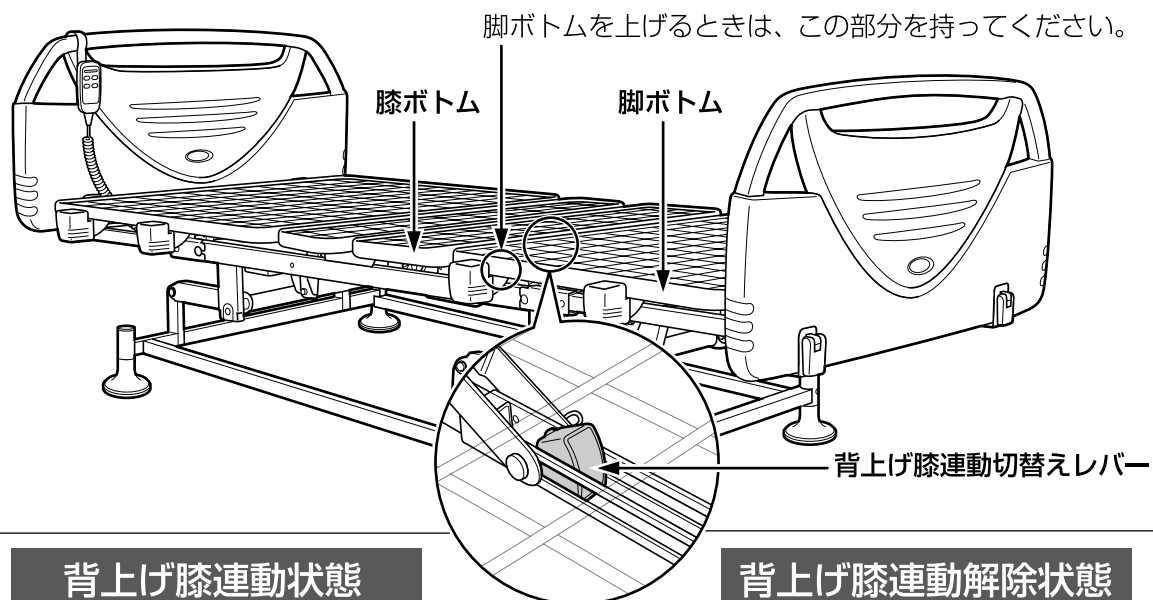
●たかさ調節について

●乗り降りのときに高さを調整
●サポートしやすい高さに調整するときに便利
●腰に負担をかけない

●ベッドの高さを調節できます。
ゆかからボトムまでの高さを25～65cm間で調節できます。

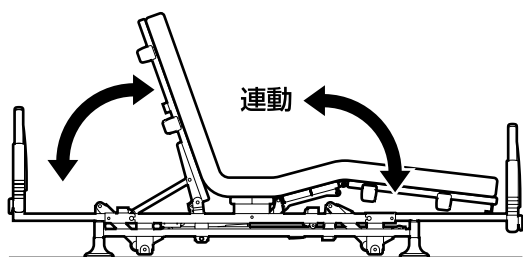
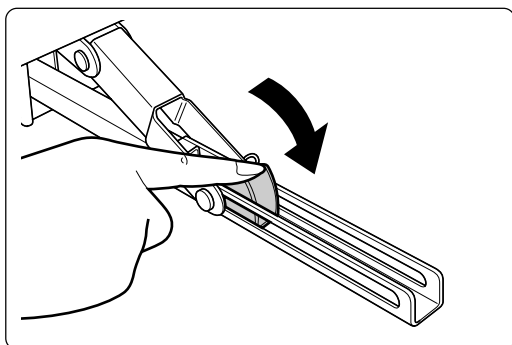
ベッドに乗り降りする場合は乗り降りしやすい高さにベッドを調整し、座ボトムに腰かけてから行ってください。
他のボトムから乗り降りすると、ケガや故障のおそれがあります。特に背ボトム、脚ボトムだけに荷重をかけると大変危険です。

操作（動作）のしかた

2 モーターの操作のしかた

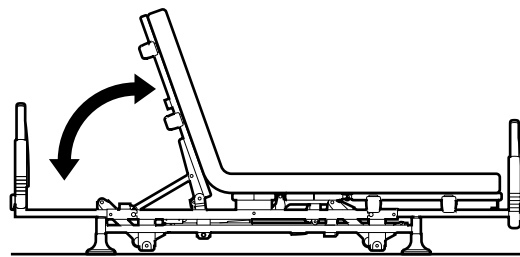
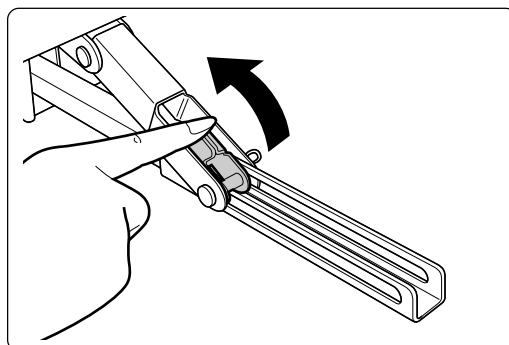
●背上げ膝連動切替え操作について

ケプロコア852R（2モーター）は背上げ膝連動切替え操作ができ、次のような特長があります。療養されている方の状態にあわせて使い分けてください。
※療養されている方がベッドに乗っている状態でも操作ができます。
※連動操作で膝ボトムが上がっている状態でも切替えができます。

背上げ膝連動状態

1 脚ボトムを持ち上げる

2 レバーを下図の位置にし、手元スイッチの「あたま」ボタンを押す
※背ボトムと膝ボトムが連動して動作します。

背上げ膝連動解除状態

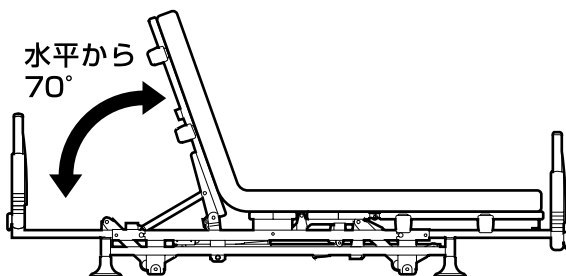
1 脚ボトムを持ち上げる

2 レバーを下図の位置にする
※連動が解除され、背上げのみの操作になります。

● 背上げ膝連動切替えレバーの操作は、必ず手で行ってください。
● ボトムとフレームの間で手を挟まないよう注意してください。

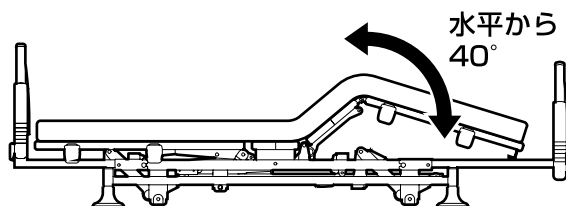
3モーターの操作のしかた

手元スイッチのボタンでベッドの背ボトム、膝ボトム、ベッドの高さを無段階に調節できます。ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。（3モーターでは背上げ膝連動操作はできません。）

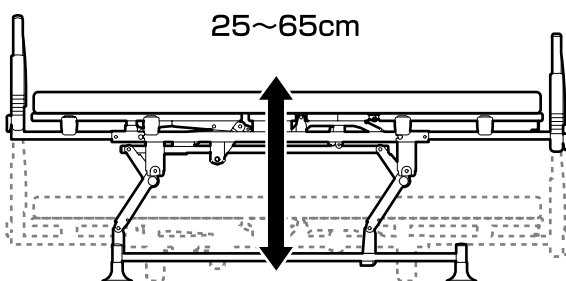
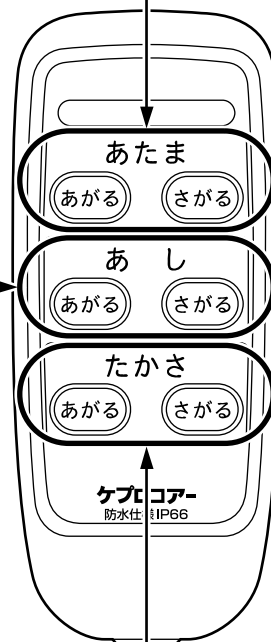
●背上げについて

●ベッドから起き上がるとき
●ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

●背ボトムの角度を調節できます。
背ボトムは、水平から最大70度まで調節できます。

●膝上げについて

●背上げを行う場合に便利
●からだに負担をかけない

●膝ボトムの角度を調節できます。
膝ボトムは、水平から最大40度まで調節できます。
※背上げを行う場合、先に膝ボトムを上げておくと体のずれが少なくなります。
※からだに負担がかからないように調節します。

●たかさ調節について

●乗り降りのときに高さを調整
●サポートしやすい高さに調整するときに便利
●腰に負担をかけない

●ベッドの高さを調節できます。
ゆかからボトムまでの高さを25～65cm間で調節できます。

警　告

**ベッドに乗り降りする場合は乗り降りしやすい高さにベッドを調整し、座ボトムに腰かけてから行ってください。
他のボトムから乗り降りすると、ケガや故障のおそれがあります。特に背ボトム、脚ボトムだけに荷重をかけると大変危険です。**

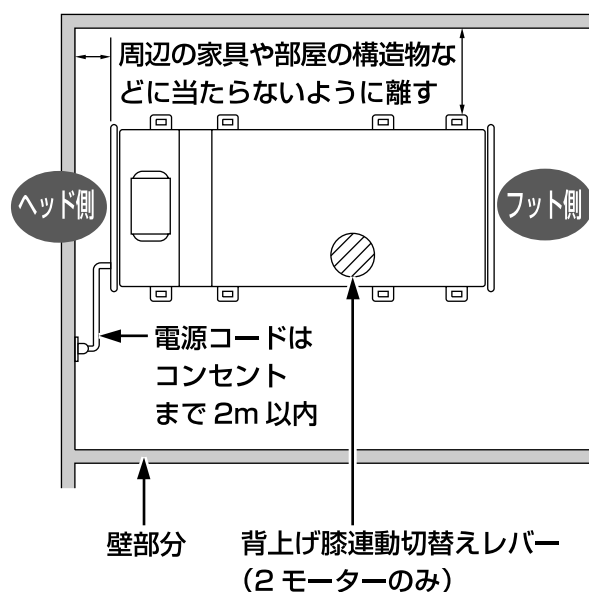
設置について

設置場所について

ベッドを設置する際は、以下の条件を考慮してください。

●設置スペースを確保する

次のことを考慮したうえで、下図を参考に設置します。

1. 療養されている方がベッドの左右どちら側から乗り降りがしやすいか。
2. 介助をするためのスペースがどれだけ必要か。

●水平で丈夫なゆかを選ぶ

ベッドの重量は約70kgです。
ベッドの重量と療養される方、オプション製品、寝具なども含めた重量が使用時の静荷重となります。この荷重に十分耐えられるゆかの強度を確保してください。

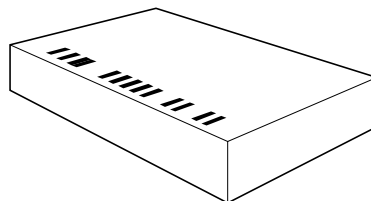
その他のお願い

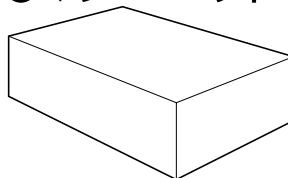
- ●電源プラグを抜き差ししやすいところにベッドを設置してください。
- ●冷暖房機の風が、直接ベッドに当たらないようにベッドを設置してください。
- ●ベッドの電源は直接コンセントからとってください。延長コードやテーブルタップなどを使用すると火災の原因になります。
- ●ベッドは電動で動きます。可動範囲に注意して、周辺の家具、部屋の構造物などに当たらないようにしてください。

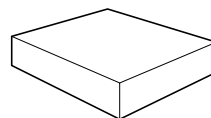
開梱と部品の確認

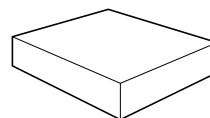
組立てる前に

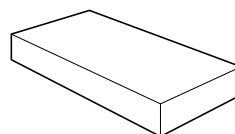
(マザーユニット以外は2モーター/3モーター用共通です。)

●ハイローベースユニット

シングル・セミダブル共通　140×85×19（cm）
約15.5kg（20kg）
（　kg）は梱包材を含めた重量

●マザーユニット

130×70×27（cm）
852R　約22kg　（26.5kg）
853R　約23.5kg（27.5kg）

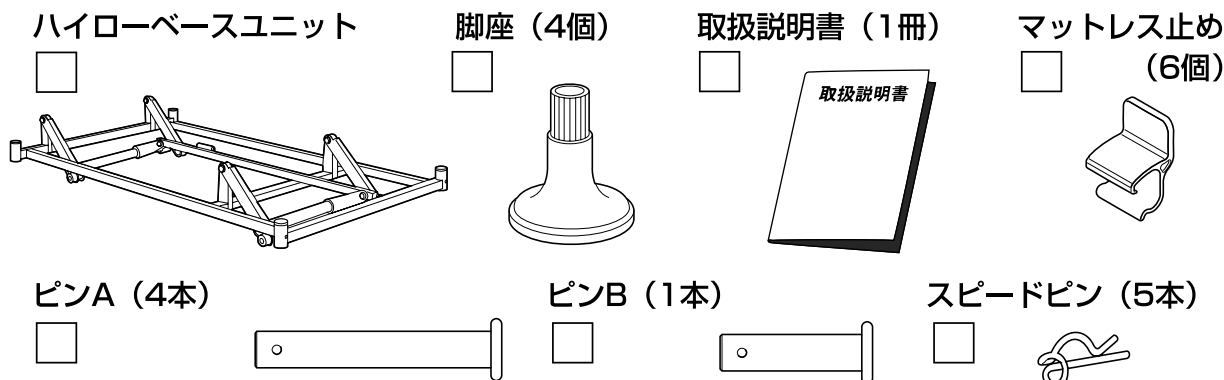
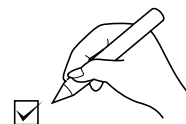
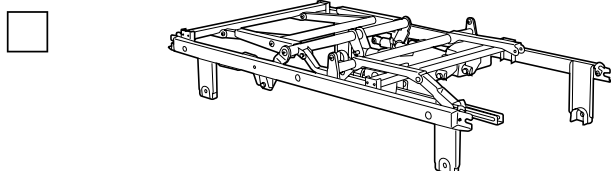
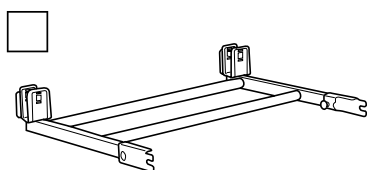
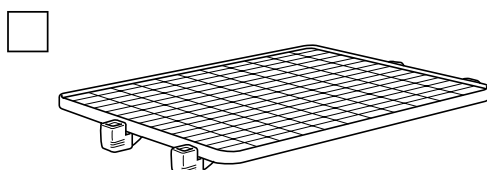
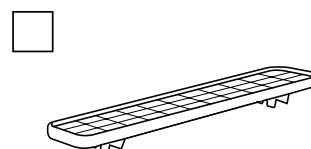
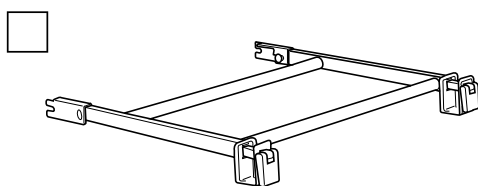
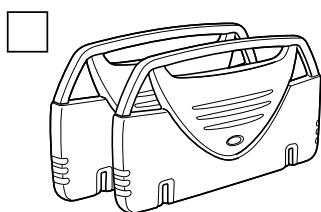
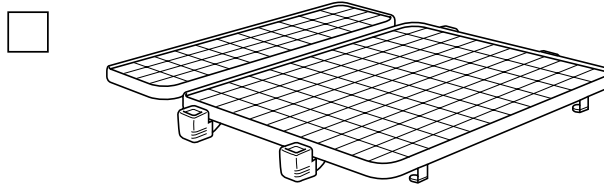
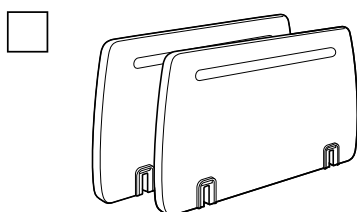
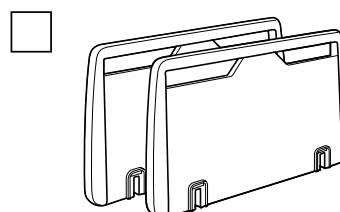
●フロントフレーム・背ボトム・座ボトム

シングル	100×100×18（cm）	約13kg（17kg）
セミダブル	110×100×18（cm）	約14kg（18.5kg）

●リアフレーム・膝ボトム・脚ボトム

シングル·レギュラー	100×93×15（cm）	約12.5kg（16.5kg）
シングル·ショート	100×83×15（cm）	約11.5kg（15kg）
シングル·ロング	100×107×15（cm）	約14kg　（18.5kg）
セミダブル·レギュラー	110×93×15（cm）	約13kg　（18kg）
セミダブル·ロング	110×107×15（cm）	約14.5kg（19kg）

●ヘッドボード・フットボード

箱のサイズ、重さは右図参照

※ボードはプラスチックボードとウッドボードの2 種類あります。詳しくはp25〜p26を参照してください。

必ず確認してください

●組立てる前に、下記の部品が全て揃っているか確認してください。
●不足している部品や、破損している部品がある場合は、販売店にご連絡ください。

プラスチックボード（1組）
98×50×13（cm）
約6kg（7kg）

DXボード
シングルサイズ
100×57×10（cm）約8.5kg（11kg）
セミダブルサイズ
110×57×10（cm）約9.5kg（12kg）

EXウッドボード
シングルサイズ
100×57×10（cm）約9kg （11.5kg）
セミダブルサイズ
110×57×10（cm）約11.5kg（14kg）

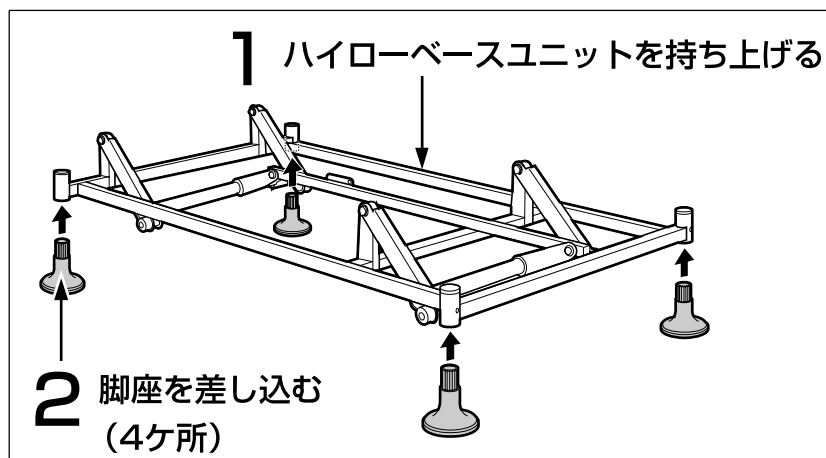
ベッドの組立てかた

ベッドを組立てる前に、必ずベッドの配置を決めて、作業は、お二人でされることをおすすめします。2モーターと3モーターの組立て方法は同じです。

1. 脚座を取付ける

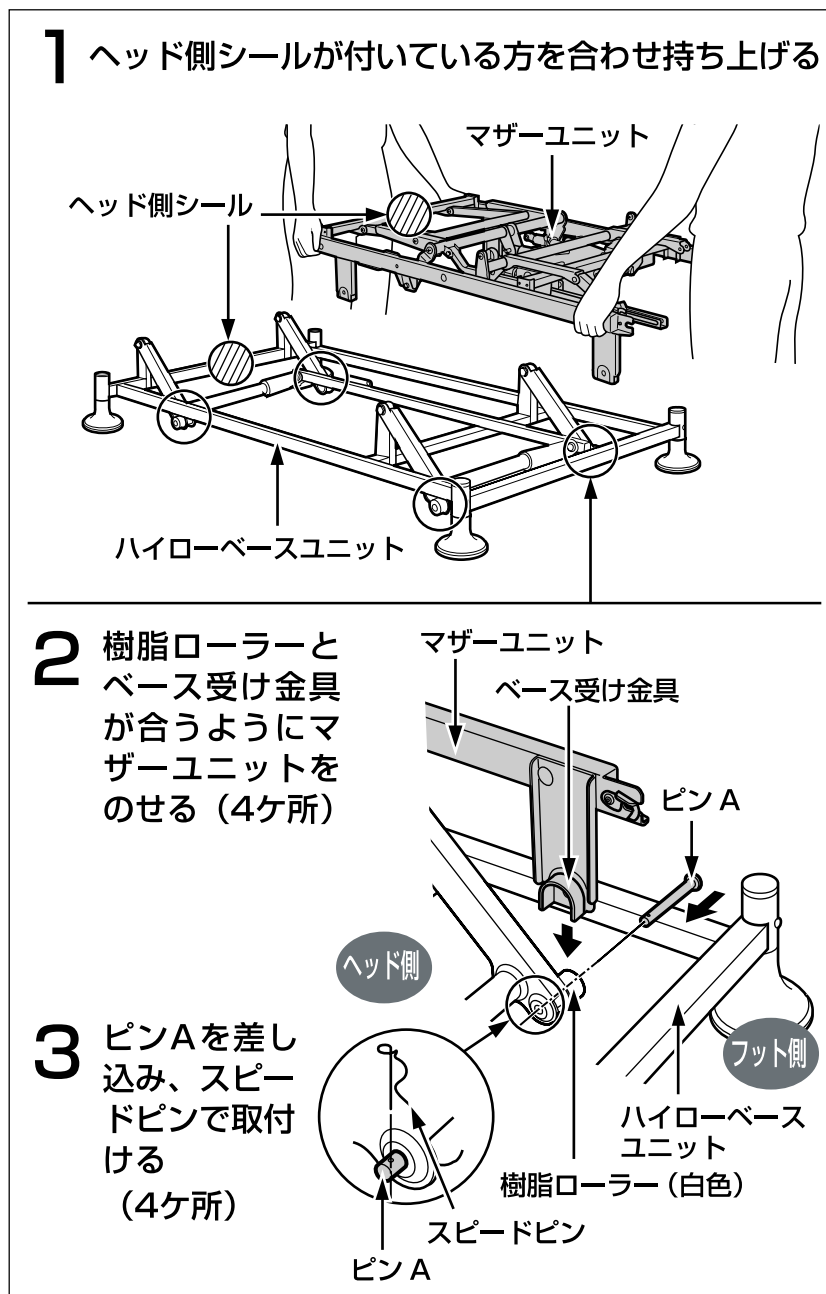
※オプションで脚座をキャスターにすることもできます。（p30）

お願い

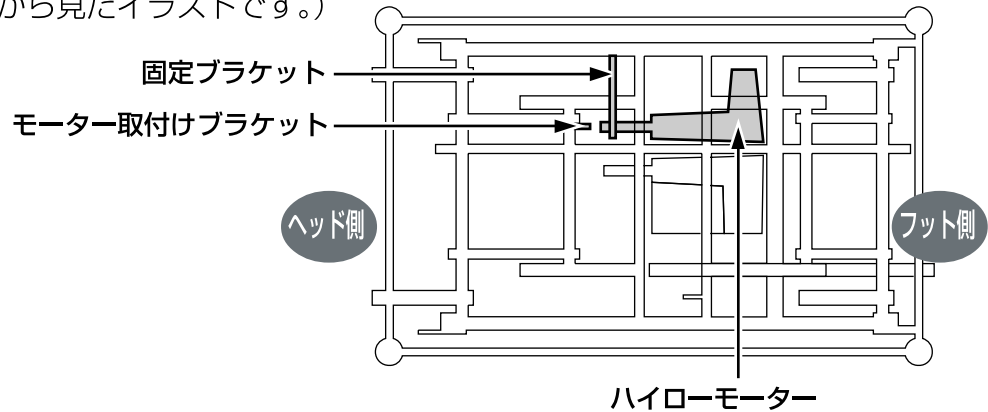
事故、破損の原因となります。
脚座は、しっかりと脚パイプに差し込んでください。

2. マザーユニットを取付ける

お願い

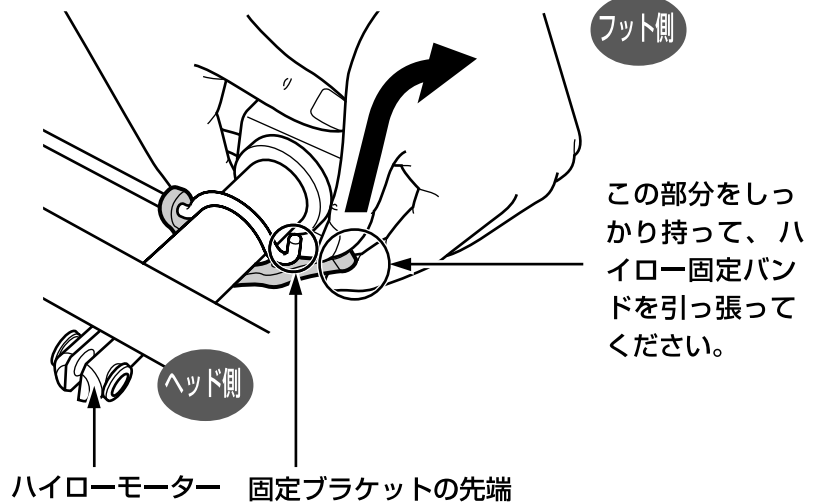
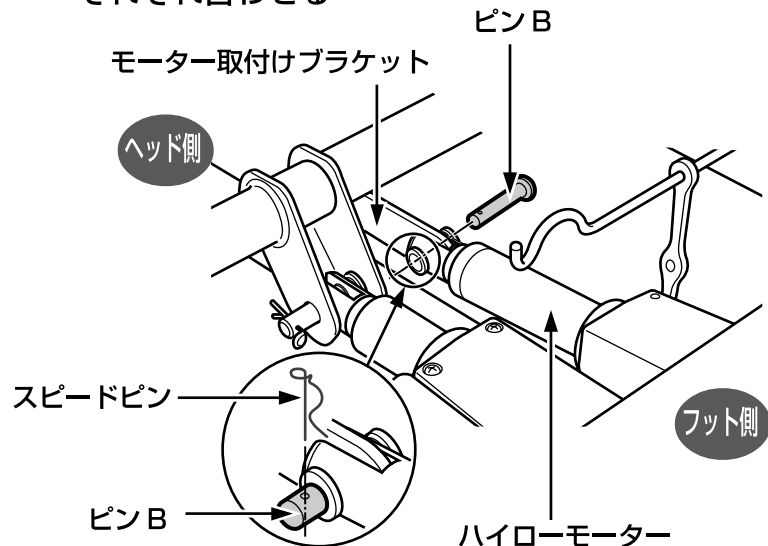
事故、破損の原因となります。
- マザーユニットのヘッド側シールとハイローベースユニットのヘッド側シールを合わせてください。
- ピンAとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

事故、ケガの原因となります。
- 手、指づめに注意してください。

3. モーターを取付ける

●位置関係図

（ベッドを上から見たイラストです。）

お願い

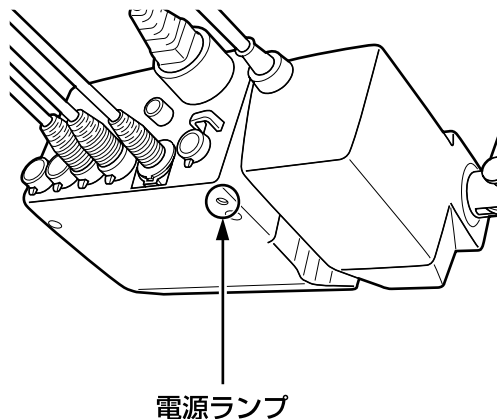
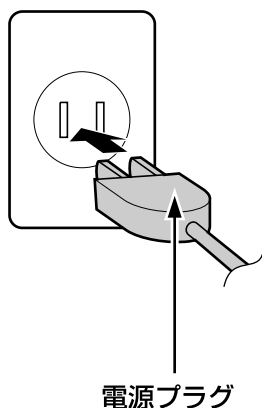
事故、破損の原因となります。
ハイローモーターが脱落しないよう必ずハイローモーターを手で支えてください。

1 ハイロー固定バンドを矢印方向に引っ張って、固定ブラケットの先端から外す

2 モーター取付けブラケットとモーター先端の穴をそれぞれ合わせる

3 ピンBを差し込み、スピードピンを取付ける（上図参照）

4. ベッドの動作を確認する

1 **電源プラグをコンセントに差し込む**
※電源ボックスの電源ランプが点灯します。
（電源ボックスは、座ボトムと膝ボトムの裏面にあります。）

電源コンセント　電源ボックス

電源プラグ　電源ランプ

2 **手元スイッチのボタンを「あたま」、「あし（3モーターのみ）」、「たかさ」の順に押し、正常に動作するか確認する**
※手元スイッチのボタンを押している間、手元スイッチのランプが点灯します。
詳しくは、「操作（動作）のしかた」（p10）を参照してください。

ランプ

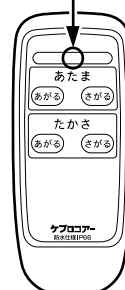
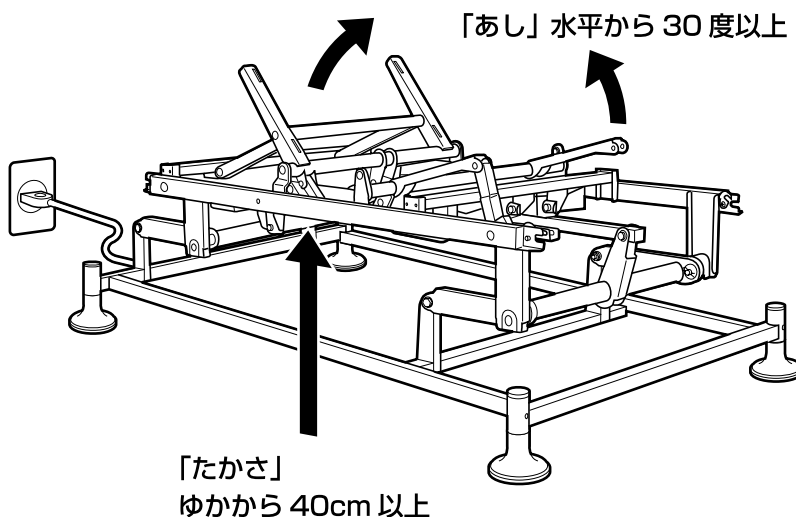
手元スイッチ

「あし」水平から 30 度以上

「たかさ」
ゆかから 40cm 以上

お願い

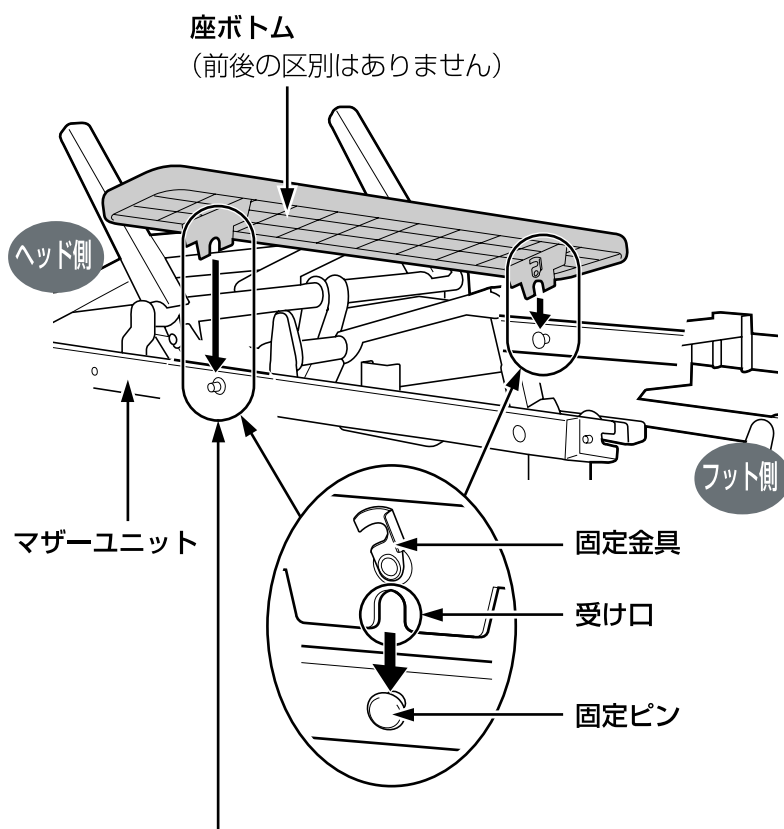
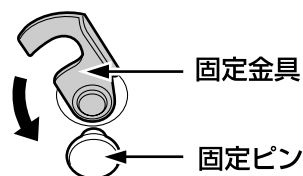
事故、破損の原因となります。
2モーターは、安全のため、背上げ膝連動にて、上げておいてください。

あたま、あし（3モーターのみ）、たかさは、十分上げた状態にしておくと、組立てやすくなります。

この時点で下記の項目を確認してください。

●電源ボックスの電源ランプは点灯していますか？
●手元スイッチの各種ボタンを押したとき、ランプは点灯していますか？
●マザーユニットおよびモーターを取付けたときのピンとスピードピンは確実に差し込まれていますか？
●モーターから異常音がしていませんか？
●あたま、あし（3モーターのみ）、たかさがスムーズに動作しますか？

以上の項目を確認して、異常がある場合は、もう一度「ベッドの組立てかた」を最初（p16）から見直してください。
それでも直らない場合は、組立てをやめて、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。

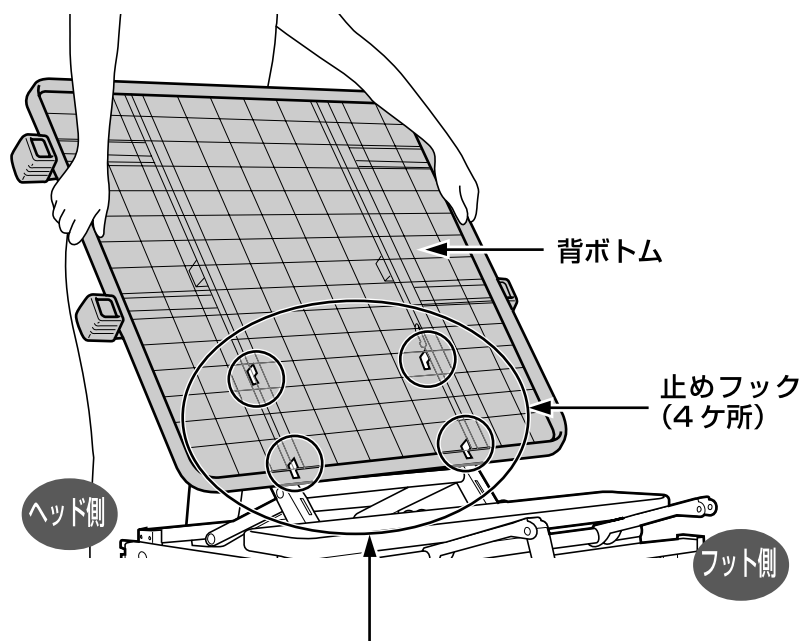
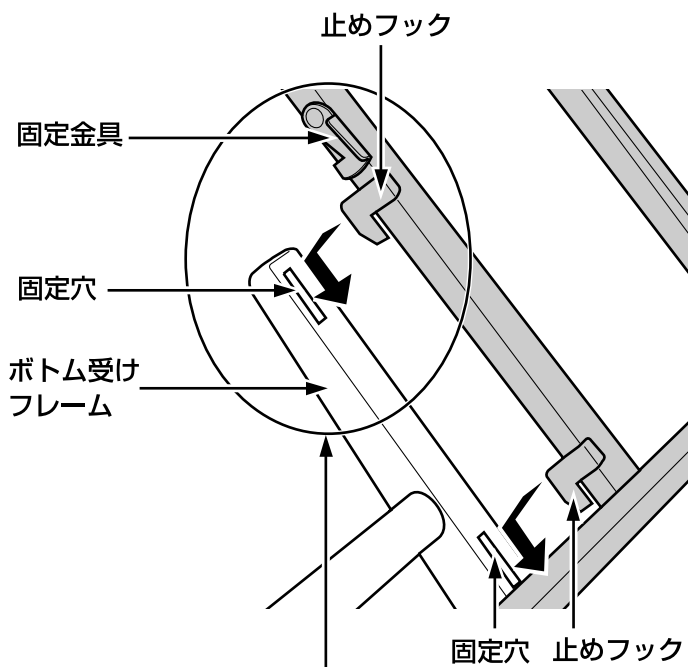
5. 座ボトムを取付ける

1 座ボトムの受け口が、マザーユニット内側の固定ピンにかみ合うよう、しっかり取付ける

2 固定金具を回転させ、固定ピンに固定する

固定金具
固定ピン

お願い

事故、破損の原因となります。
確実に固定金具で、固定してください。

6. 背ボトムを取付ける

1 背ボトムを図のように持つ

2 背ボトムの止めフックをボトム受けフレームの固定穴に合わせ、矢印の方向に背ボトム全体をスライドさせて差し込む（左右4ケ所）

3 固定金具を回転させ、背ボトムをボトム受けフレームの固定穴に固定する
（左右2ケ所）

お願い

事故、破損の原因となります。
背ボトムの止めフックがボトム受けフレームの固定穴に確実に入っているか、必ず確認してください。

お願い

事故、破損の原因となります。
確実に固定金具で、固定してください。

7. フロントフレームを取付ける

お願い

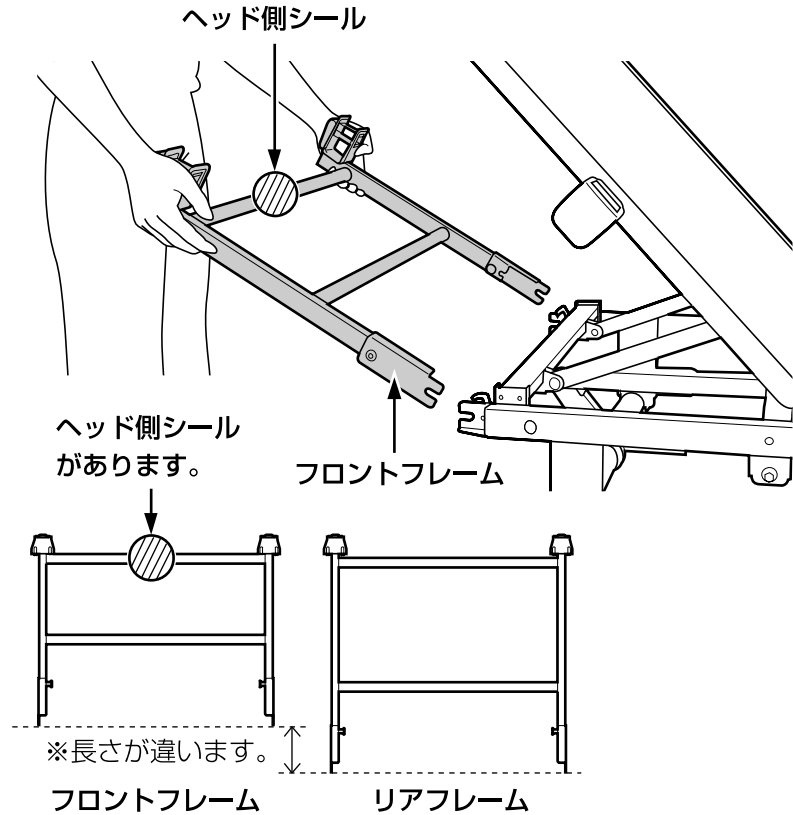
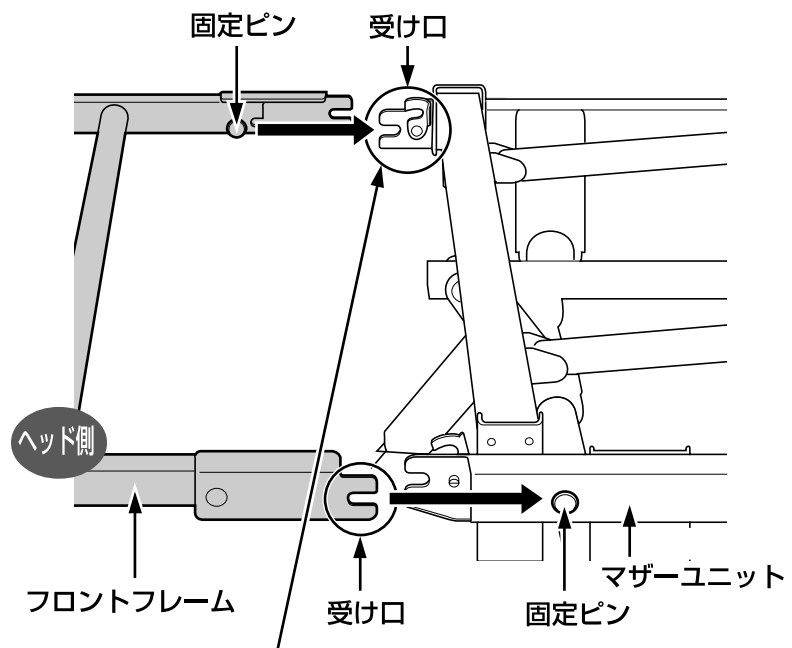
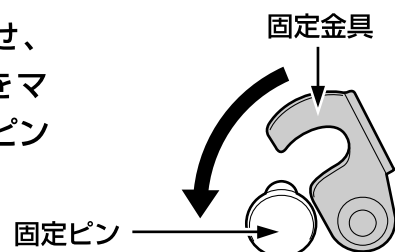
事故、破損の原因となります。
ヘッド側シールを必ず確認してください。

お願い

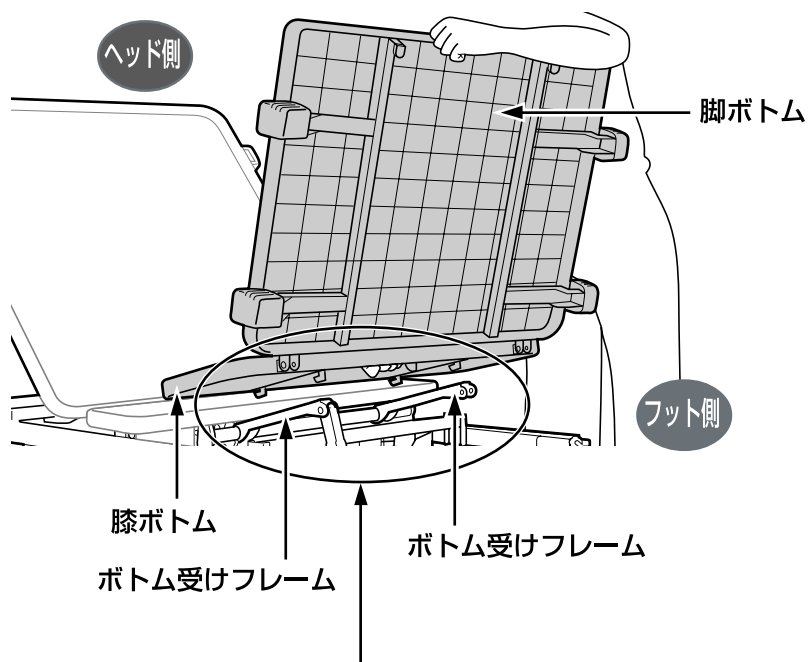
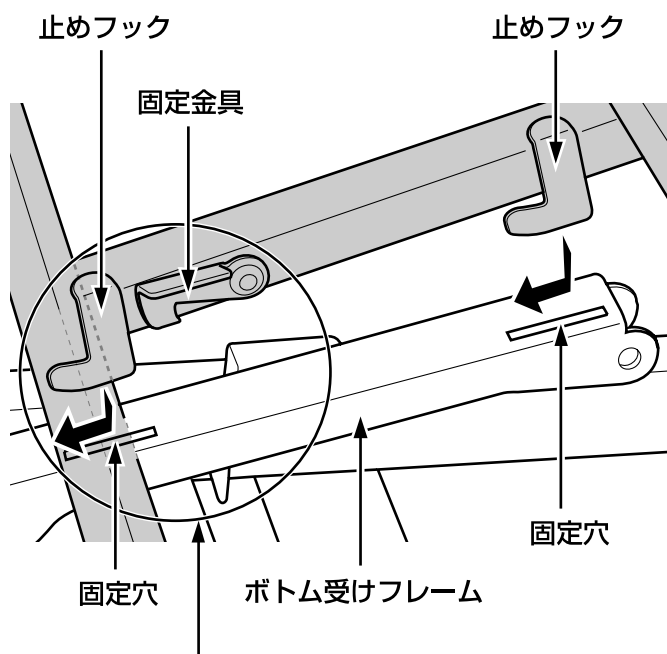
事故、破損の原因となります。
フロントフレームの受け口がマザーユニットの固定ピンに確実に入っているか、必ず確認してください。

お願い

事故、破損の原因となります。
確実に固定金具で、固定してください。

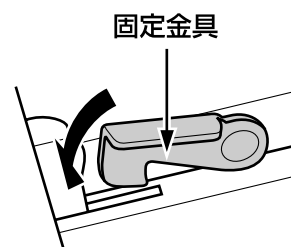
1 フロントフレームを図のように持つ

2 フロントフレーム、マザーユニットのそれぞれの内側外側の固定ピンと受け口がかみ合うように取付ける

3 固定金具を回転させ、フロントフレームをマザーユニットの固定ピンに固定する
（左右2ケ所）

8. 膝ボトム・脚ボトムを取付ける

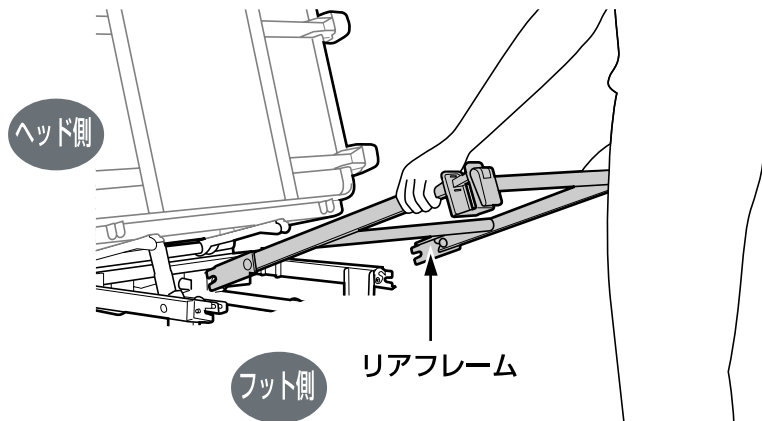
1 膝ボトムと脚ボトムを図のように持つ

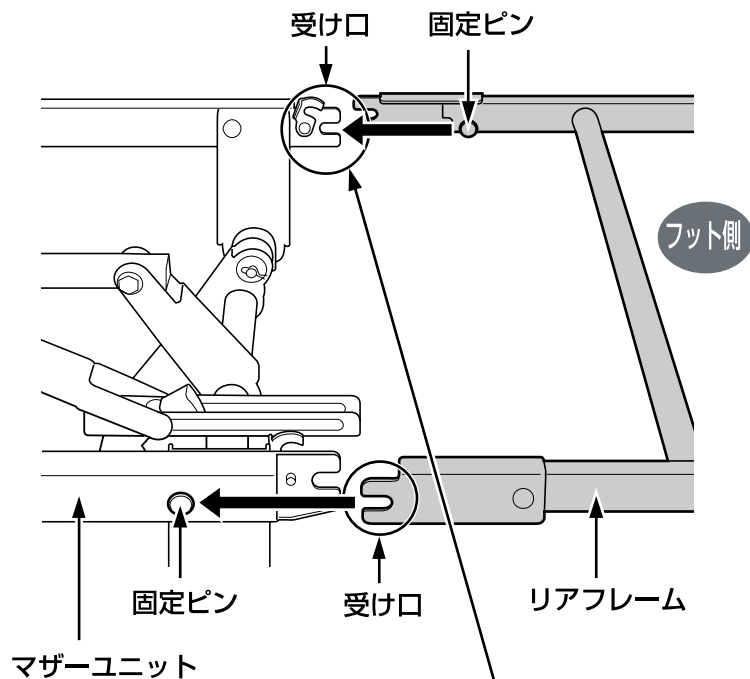
2 膝ボトムの止めフックをボトム受けフレームの固定穴に合わせ、矢印の方向にボトム全体をスライドさせて差し込む（左右4ケ所）

お願い

事故、破損の原因となります。
膝ボトムの止めフックがボトム受けフレームの固定穴に確実に入っているか、必ず確認してください。

3 固定金具を回転させ、ボトム受けフレームの固定穴に固定する
（左右2ケ所）

お願い

事故、破損の原因となります。
確実に固定金具で、固定してください。

9. リアフレームを取付ける

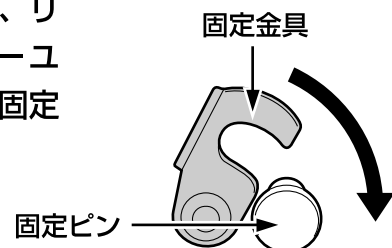
1 リアフレームを図のように持つ

2 リアフレーム、マザーユニットのそれぞれの内側、外側の固定ピンと受け口がかみ合うように取付ける

受け口
固定ピン
フット側
固定ピン
受け口
リアフレーム
マザーユニット

お願い

事故、破損の原因となります。
リアフレームの受け口がマザーユニットの固定ピンに確実に入っているか、必ず確認してください。

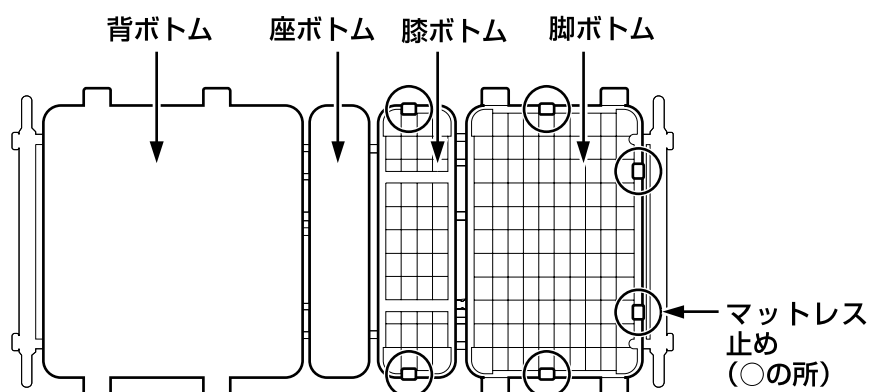
3 固定金具を回転させ、リアフレームをマザーユニットの固定ピンに固定する
（左右2ケ所）

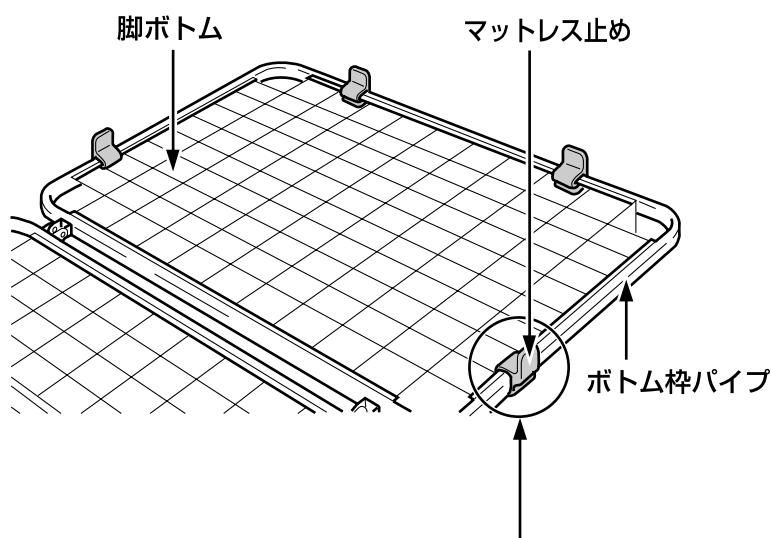
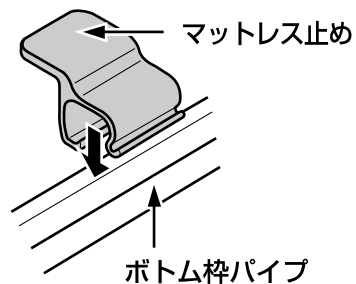
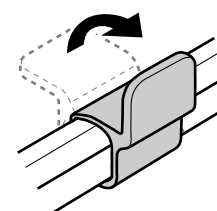
お願い

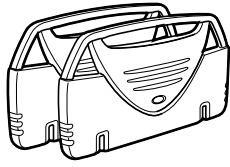
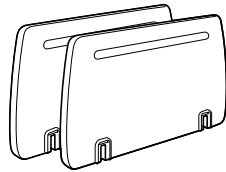
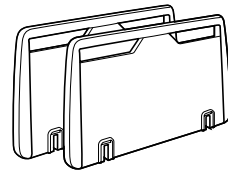
事故、破損の原因となります。
確実に固定金具で、固定してください。

ベッドの組立てかた

10. マットレス止めを取付ける

ベッドをお使いになる方に合わせて取付け位置を決めてください。

取付け位置参考例

●事故、故障を防ぐために

※座ボトムへのマットレス止めは、ベッドへの乗り降りの邪魔になるため、取付けはおすすめできません。

1 マットレス止めをボトム枠パイプに差し込む

2 取付けたマットレス止めを矢印方向に回転させ、ボトム枠パイプに固定します

11. ヘッドボード・フットボードを取付ける

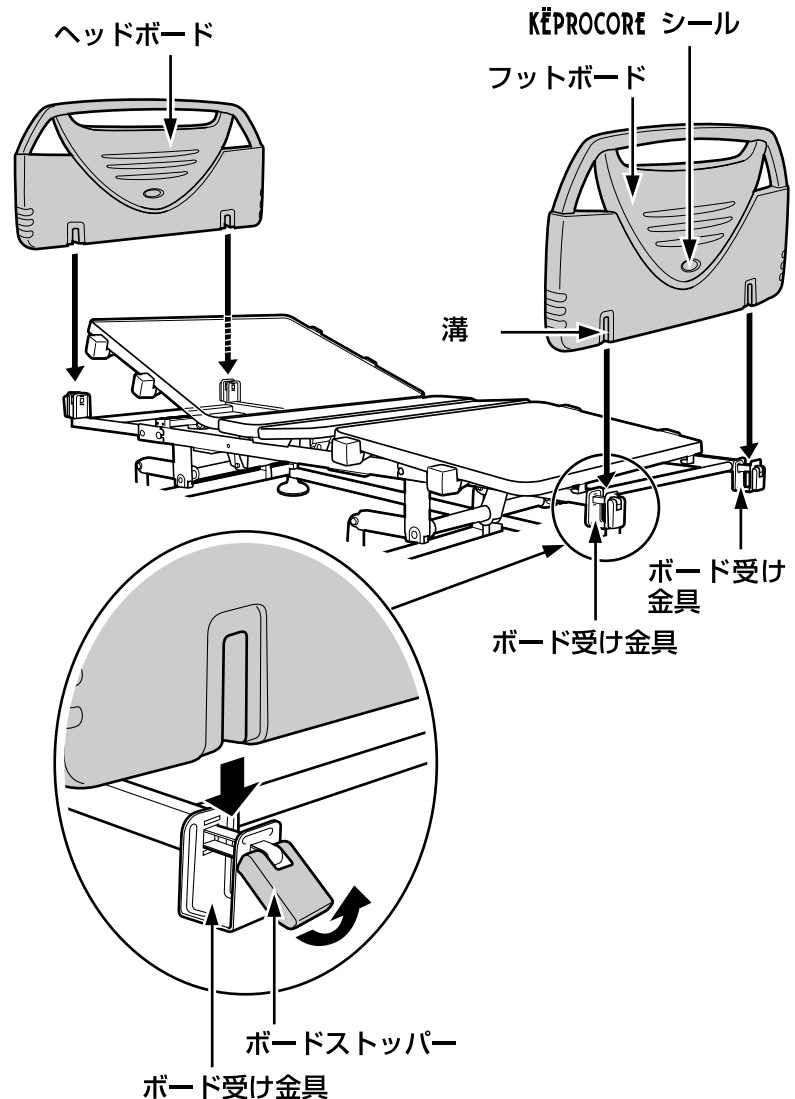
●ヘッドボード・フットボードの種類

●ヘッドボード・フットボードの取付けかた

※プラスチックボード・DX・EXボードとも、取付けかたは同じです。（取付け図はプラスチックボードです）

お願い

事故、破損の原因となります。
「KEPROCORE」のシールがある方がフット側のボードです。
間違えないように取付けてください。

1 ボード受け金具のボードストッパーを起こし、それぞれのボードの溝をボード受け金具に差し込む

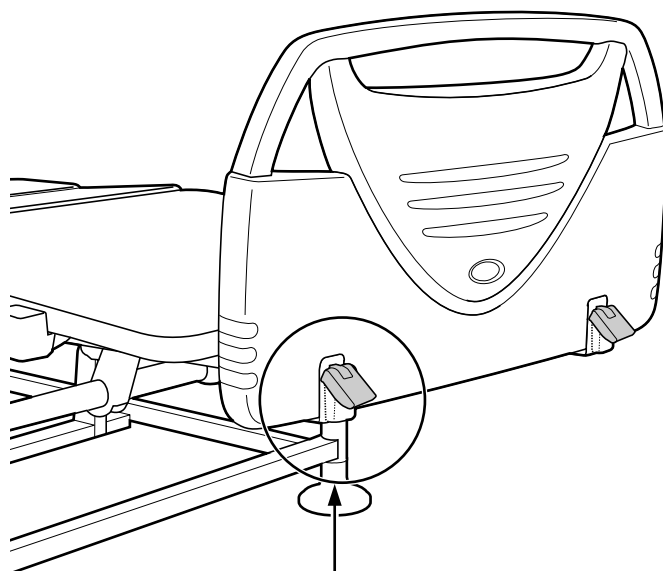
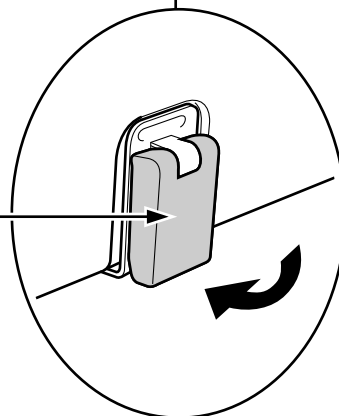
※フロントフレーム：左右２ケ所
※リアフレーム：左右２ケ所

（次ページへつづく）

お願い

事故、破損の原因となります。

ボードはしっかり最後まで差し込んで確実にボードストッパーで固定してください。

2 ボードストッパーを倒し、ヘッドボードとフットボードを固定する

※フロントフレーム：左右2ケ所
※リアフレーム：左右2ケ所

組立て後の点検

ベッドの組立てが終了したら、以下の項目にそって点検（v）してください。

●事故、破損を防ぐために

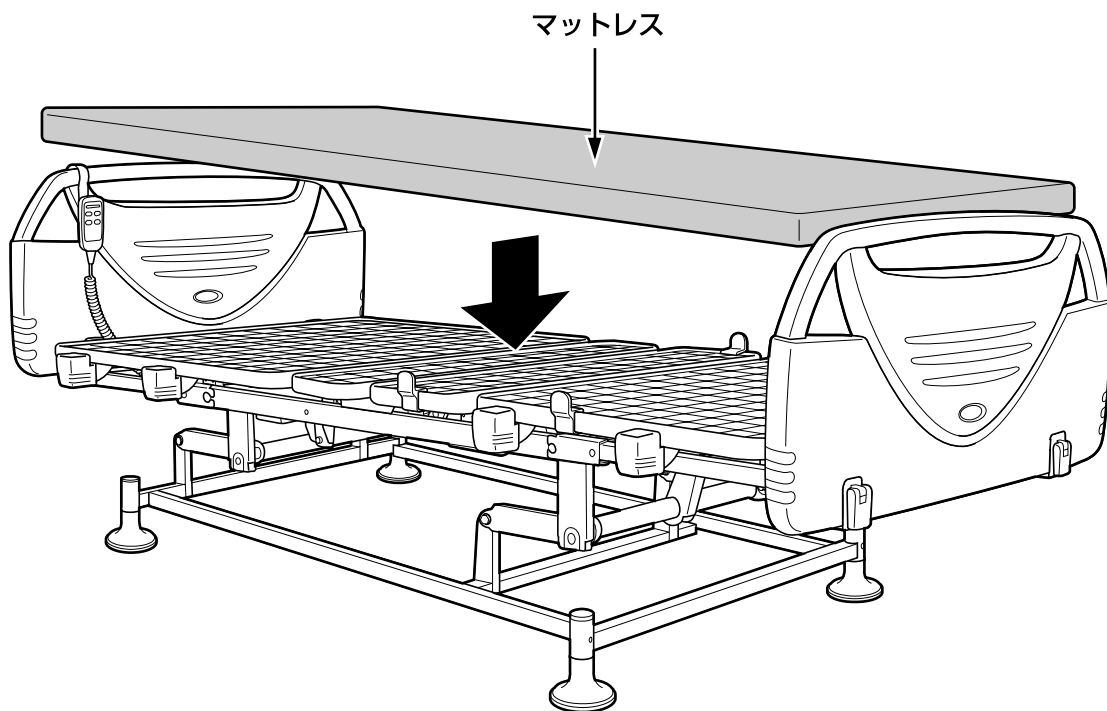
手元スイッチで操作しながら点検をしている際に、異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用をやめて、当社か販売店にご連絡ください。

	点検項目	参照先	チェック
1	**マザーユニットの取付け** 1. マザーユニットは、ハイローベースユニットに確実にのっていますか？	p16	
	2. マザーユニットとハイローベースユニットのヘッド側のシールの向きは合っていますか？		
	3. ピンAとスピードピンは、確実に差し込まれていますか？		
2	**モーターの取付け** 1. ピンBとスピードピンは、確実に差し込まれていますか？	p17	
3	**座ボトムの取付け** 1. 座ボトムは、固定金具で確実に固定されていますか？	p19	
4	**背ボトムの取付け** 1. 背ボトムの止めフックがボトム受けフレームの固定穴に確実に固定されていますか？	p20	
	2. 背ボトムは、固定金具で確実に固定されていますか？		
5	**フロントフレームの取付け** 1. フロントフレームは、マザーユニットに確実に取付けられていますか？	p21	
	2. フロントフレームは、固定金具で確実に固定されていますか？		
6	**膝ボトム・脚ボトムの取付け** 1. 膝ボトムの止めフックがボトム受けフレームの固定穴に確実に差し込まれていますか？	p22	
	2. 膝ボトムは、固定金具で確実に固定されていますか？		
7	**リアフレームの取付け** 1. リアフレームは、マザーユニットに確実に取付けられていますか？	p23	
	2. リアフレームは、固定金具で確実に固定されていますか？		
8	**電源（ベッドと手元スイッチ）について** 1. ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。 このとき、電源ボックスの電源ランプは点灯していますか？	p18	
	2. ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。 このとき、手元スイッチのボタンを押すと、手元スイッチのランプは点灯していますか？		
9	**操作（動作時）について** 1. 手元スイッチのボタンを押して、「あたま」、「あし（3モーターのみ）」、「たかさ」がスムーズに作動しますか？	p10 ～ p14 p18	
	2. モーターから異常音がしませんか？		
	3. 手元スイッチのボタンを押して、背ボトムを上げたとき、周囲の家具などにあたりませんか？		
	4. 手元スイッチのボタンを押して、高さを昇降させたとき、周囲の家具などにあたりませんか？		

※以上の項目を点検しても異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。

マットレスの使用方法

●ベッドの性能を最大限いかすため、必ず守ってください

※このベッドには、必ず弊社製品のマットレス（幅・シングル90cm/セミダブル100cm）をお使いください。
※他社のマットレスは、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなくベッドに負担をかけ故障の原因になります。
※スプリングマットレス、ウォーターマットレスはご使用できません。

●支援用具があれば日常生活が可能な方に適応

MB-2500 ダブルウェーブマットレス（シングル90cm／セミダブル100cm）
MB-2250 ダブルウェーブマットレス･スリム（シングル90cm／セミダブル100cm）

- 腰をかけたとき、手をついたときの沈み込みが少なく、安定性と体圧分散性に優れています。
- 独自のダブルウェーブ構造によりベッドの動きに合わせてしなやかに曲がります。
- 体圧を維持する適度な硬さと長時間の使用にもへたりがありません。
- 通気性・通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく、清潔さを保てます。
- 上下・裏表の区別はありません。マットレスの厚さはMB-2500が8cm、MB-2250は5.5cm。

●起き上がりや立ち上がりになどの基本動作に人的支援が必要な方に適応

K-160 ソフトウェーブマットレス（シングル90cm／セミダブル100cm）

- 関節などに痛みがあり、硬いマットレスでは寝返りできない方に適応します。
- プロファイル加工により、身体との接触面が小さく身体の部位ごとの圧迫を軽減します。
- マットレス全面に90ケ所（背中、押しリブに集中）の通気孔があり、ムレや湿気を緩和します。

●生活動作全体で人的支援が必要な方に適応

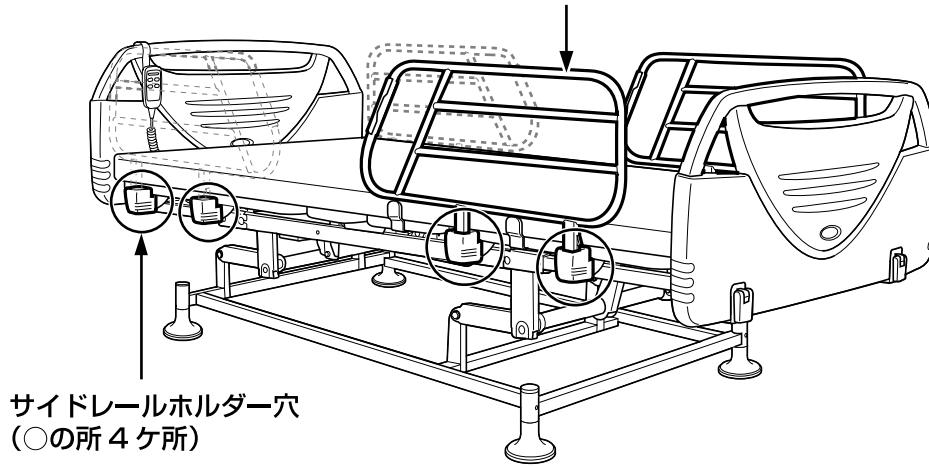
K-155 ソフトウェーブEXマットレス（シングル90cm／セミダブル100cm）

- 優れた通気性・通水性と超体圧分散性を実現する、特殊低反発2層構造の理想的な介護用マットレス。
- プロファイル加工により、身体との接触面が小さく身体の部位ごとの圧迫を軽減します。
- 通気性・通水性に優れた特殊ウレタンフォームの採用により、水洗いが可能です。
- ベッドからの立ち上がりや端座位をとったときに、マットレスの縁が崩れないように外周部に硬いめのウレタンフォームを使用しています。

オプションの取付けかた

サイドレールを取付ける

ベッド両側のサイドレールホルダー穴を利用してサイドレールが使用できます。

※サイドレール K-122
（上記サイドレールは２本１組１台に４本まで使用できます。）

●取付けかた

サイドレール上部を持ち、ホルダー穴に「カチッ」と音がするまで差し込む

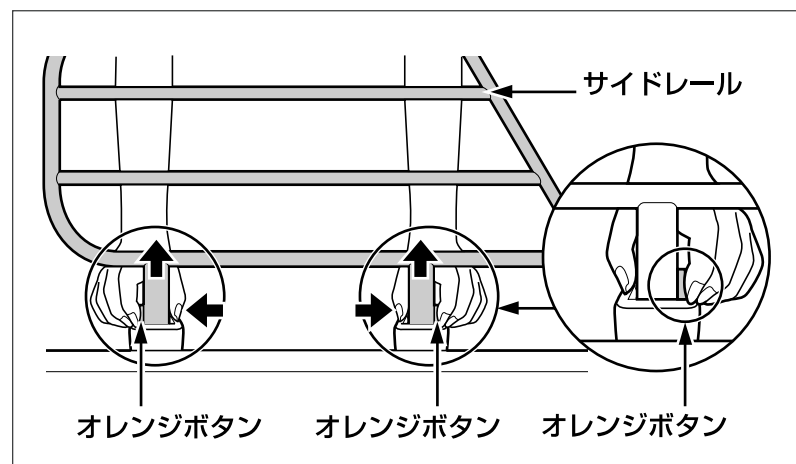
ヘッドボードまたはフットボード
サイドレール
オレンジボタン
ツメ
ホルダー穴
ホルダー穴

●取外しかた

サイドレールのオレンジボタンを指で押しながら、引き抜く

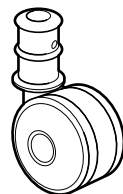
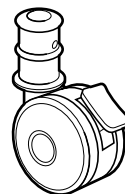
お願い

ベッドの性能を最大限いかすため、必ず守ってください。
このベッドには、必ず弊社製品のサイドレールK-122をお使いください。他社の製品は、寸法などが適合しないだけでなく、ベッドに負担をかけ故障の原因となります。

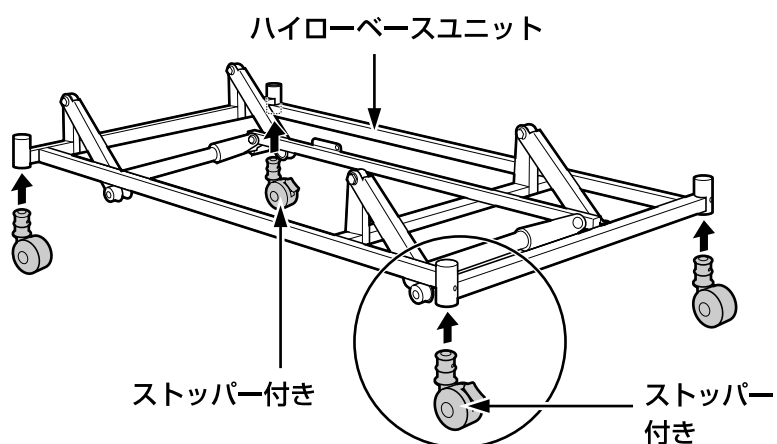
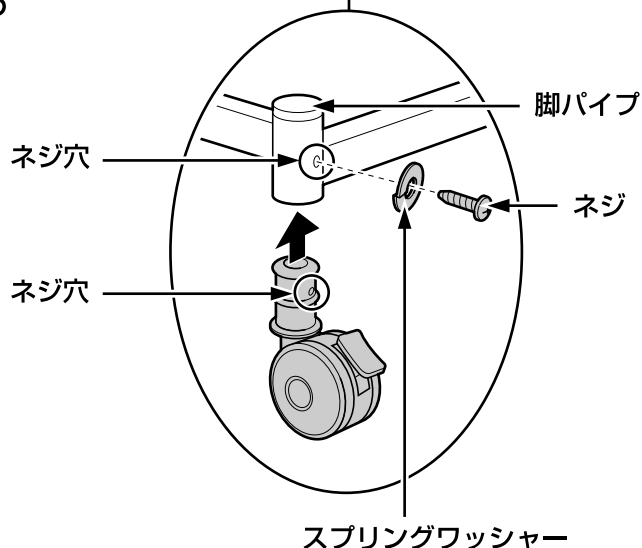
事故、破損の原因となります。
- ●取付けるとき、オレンジボタンを持って差し込むと指をはさむことがあります。必ず図のようにサイドレールを持って差し込んでください。
- ●取外すとき、オレンジボタンを押さずに引き抜こうとすると、サイドレールやベッドが壊れるおそれがありますので、絶対にしないでください。

オプションの取付けかた

キャスター（K-125）を取付ける

キャスターは、ストッパー付きと無しの2種類があります。

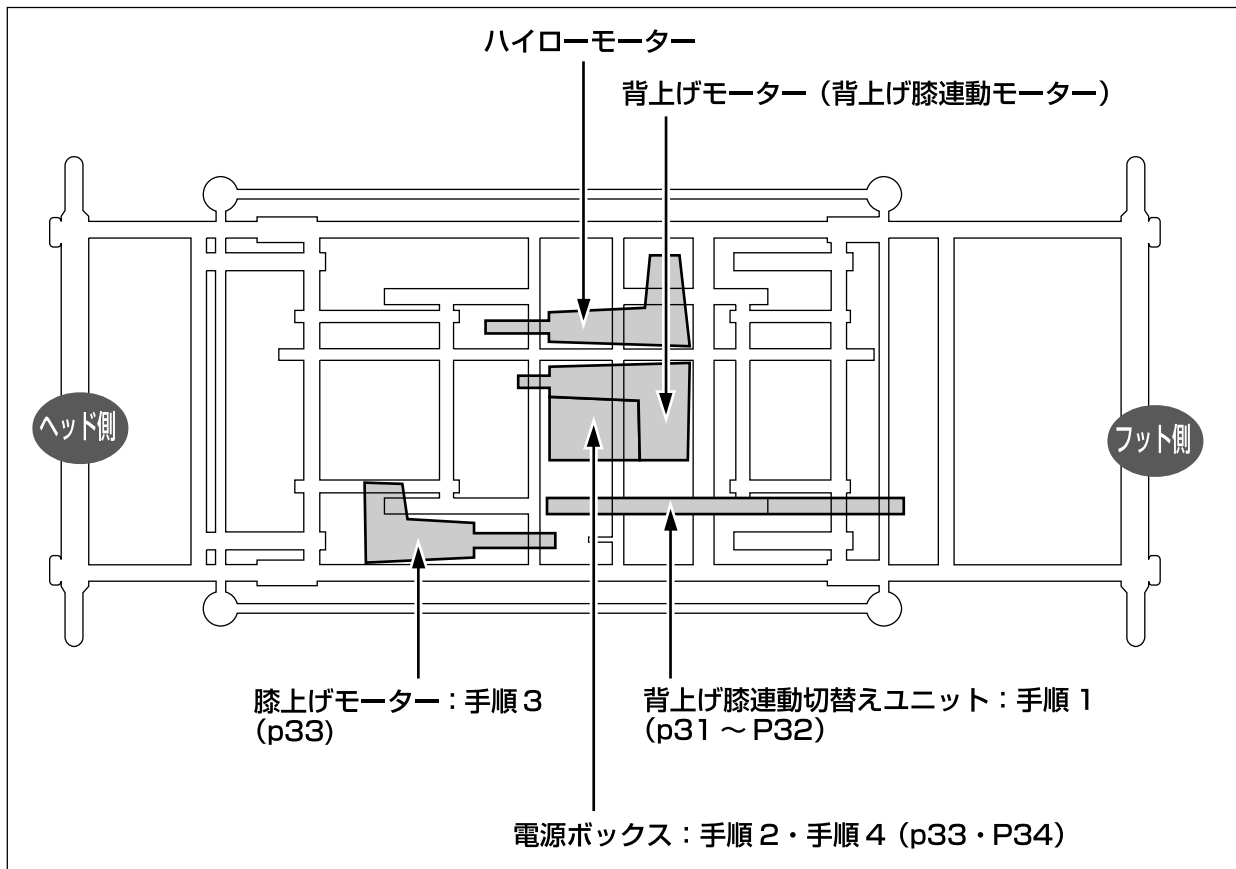
● キャスター
ストッパー無し（2個）

● キャスター
ストッパー付き（2 個）

● ネジ（4 本）

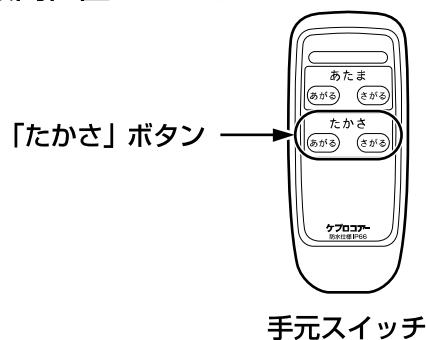
● スプリングワッシャー
（4 個）

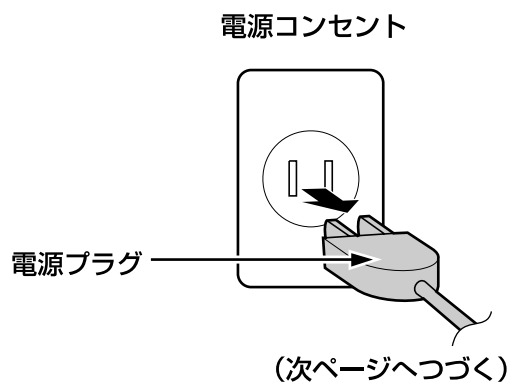
1 ストッパー付きと無しのキャスターが対角になるように取付ける（4ケ所）

2 脚パイプにキャスターを差し込み、ネジ穴が合っているか確認しネジを締める

お願い

事故、破損の原因となります。
両方のネジ穴を合わせてからネジで取付けてください。

2モーターから3モーターへの交換

●**位置関係図**（ベッドを上から見たイラストです。）

1. 背上げ膝連動切替えユニットを取外す

1 手元スイッチの「たかさ」のボタンを押してベッドの高さを最高位置まで上げる

2 電源プラグをコンセントから抜く

（次ページへつづく）

お願い

事故、感電の原因となります。
必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

3 **取付けのページを参考にして、座ボトムと膝ボトム・脚ボトムを取外す（下記参照）**

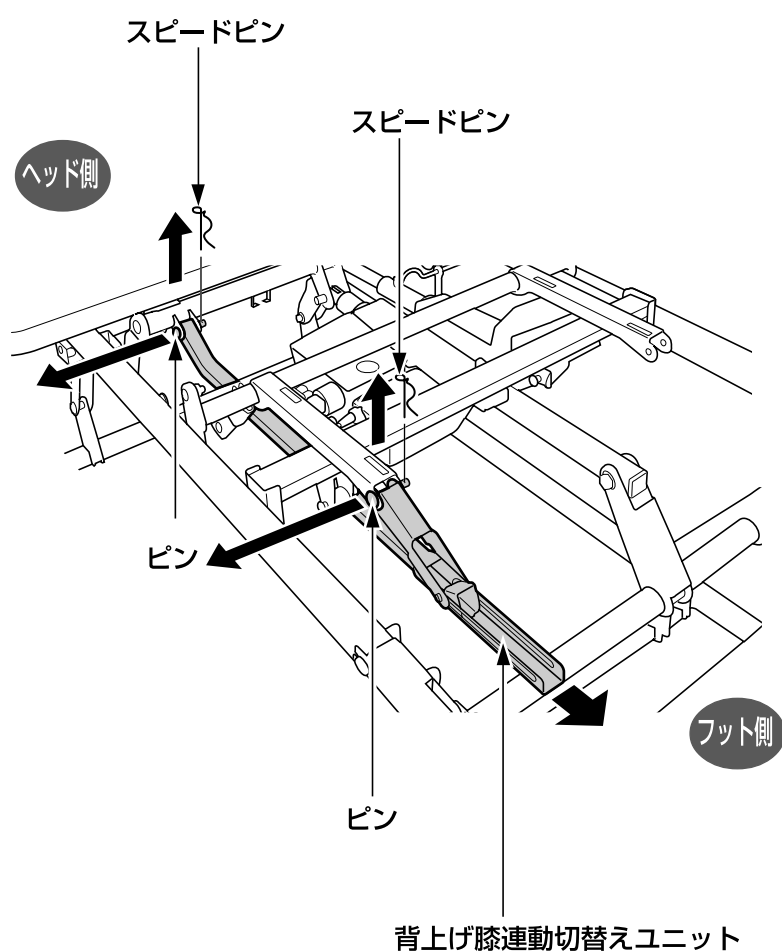
●座ボトムの取外し

「5. 座ボトムを取付ける」（p19）を参照

●膝ボトム・脚ボトムの取外し

「8. 膝ボトム・脚ボトムを取付ける」（p22）を参照

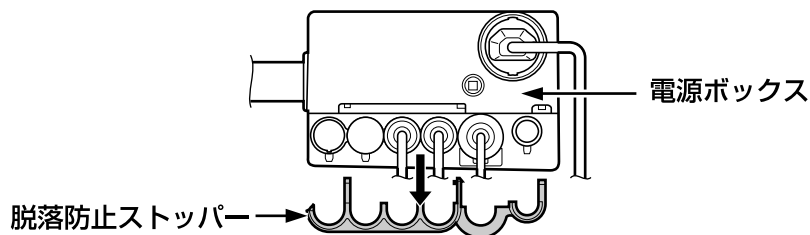
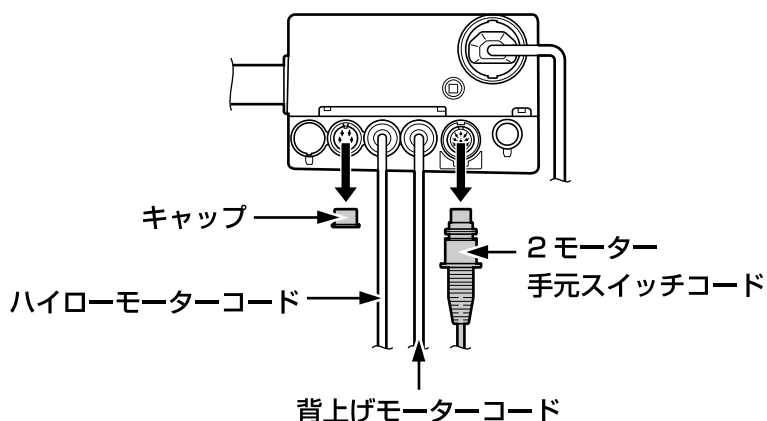
4 **ピンとスピードピンを取外す（下図参照）**

※スピードピンはラジオペンチなどで取外してください。

5 **背上げ膝連動切替えユニットを矢印方向（フット側）に引き抜く（上図参照）**

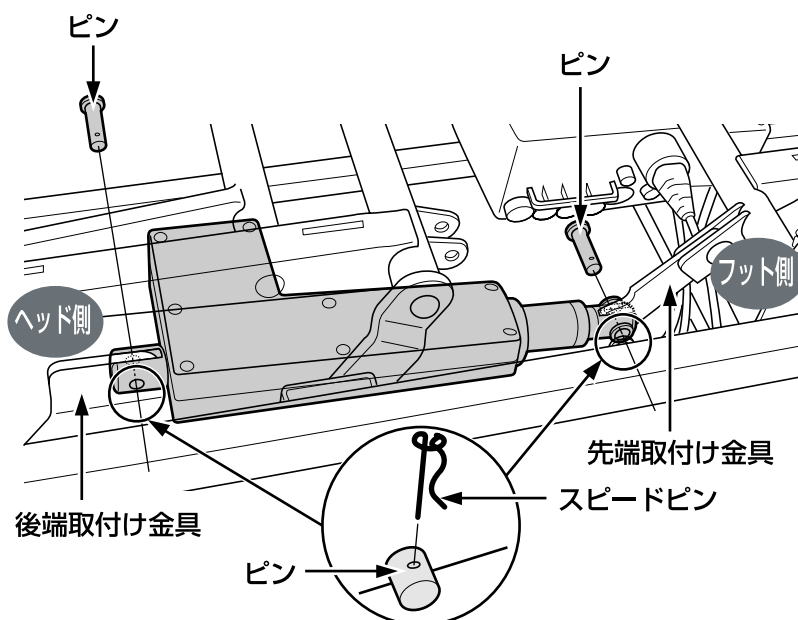
2. 電源ボックスのコードを取外す

お願い

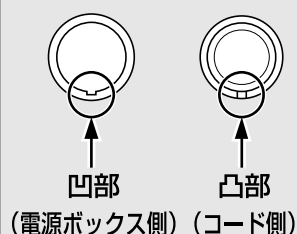
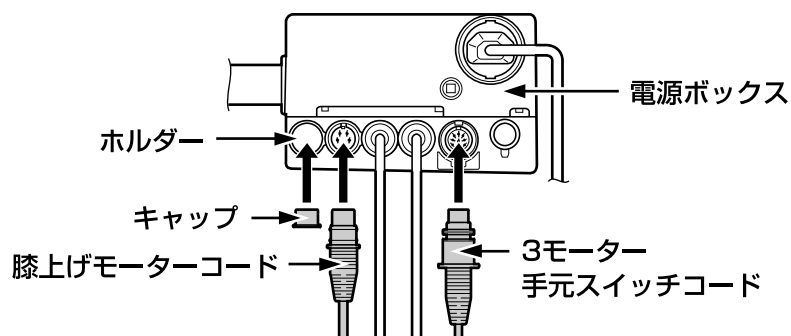
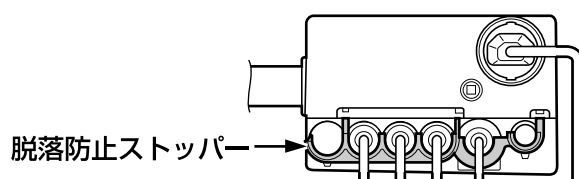
事故、感電の原因となります。
電源コードのプラグをコンセントから必ず抜いて作業を行ってください。

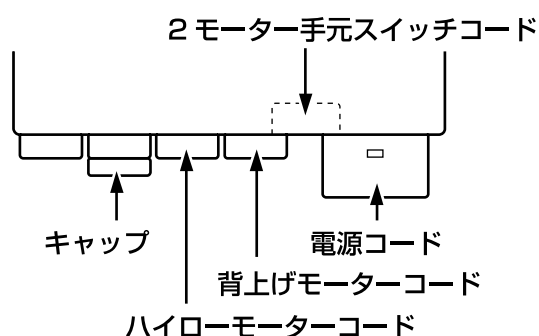
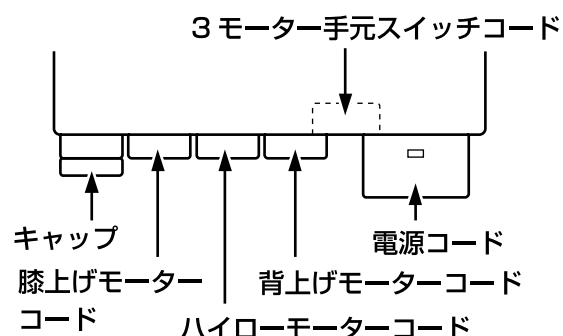
1 脱落防止ストッパーを取外す

2 2モーター手元スイッチコードとキャップを取外す

3. 膝上げモーターを取付ける

1 膝上げモーターの先端がフット側に向くよう、先端取付け金具に付属のピンとスピードピンを取付ける

2 膝上げモーターの後端と、後端取付け金具に、付属のピンとスピードピンを取付ける

4. 電源ボックスへコードを取付ける

お願い

手元スイッチとモーターコードを差し込むときは、凸部と凹部を合わせて差し込んでください。

1 コード類を電源ボックスに取付ける
※3モーター手元スイッチコード
※膝上げモーターコード
※外しておいたキャップをなくさないよう、左端のホルダーにはめる

2 脱落防止ストッパーを取付ける

3 ベッドの操作を確認する
「4. ベッドの動作を確認する」（p18）を参照

●コード類の差込位置（電源ボックスを上から見たイラストです。）

2 モーターはキャップを必ず取付けてください

3モーターから2モーターへ交換する場合は、電源ボックスに備え付けられていたキャップを必ず「膝上げモーターコード」の取付け口に取付けてください。

日常のお手入れ

1 お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜く

2 柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭く

3 乾いた柔らかい布で拭き取る

感電注意

ベッドに直接水をかけないでください。
ショート、感電、錆や故障の原因となります

警　告

必ず水で薄めた中性洗剤を使ってください。
揮発性のもの（シンナー、ベンジン、アルコール、アセトン）などは絶対に使用しないでください。
本体が変色したり、塗装がはがれたりします。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、以下の項目をチェックしてください。

症状	チェック	処置	参照先
電源ボックスのランプが消えている	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	p18
	コンセントに電源（電流が流れている）はきていますか？	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認してみてください。	—
手元スイッチを押してもランプが点灯しない	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	p18
	コンセントに電源（電流が流れている）はきていますか？	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認しみてください。	—
	手元スイッチコードが電源ボックスから外れていませんか？	手元スイッチコードを電源ボックスに差し込んでください。	p34
	長時間連続で操作していませんか？	２０～３０分後に操作してください。	p10
ボトム、ベッドの高さが上がらない	ベッド周辺、可動部に障害物がありませんか？	障害物を取り除いてください。	—

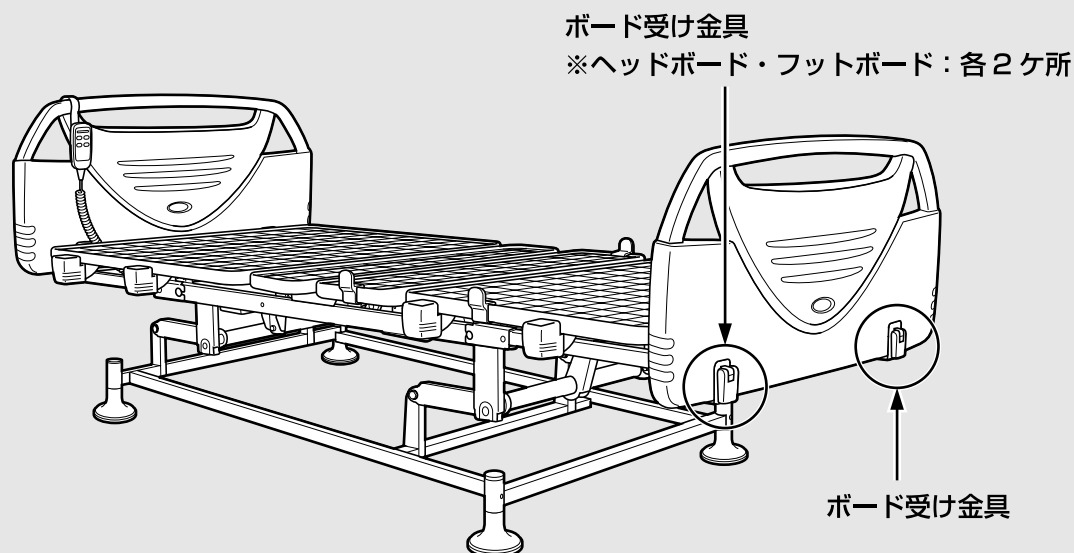
それでも直らない場合は、ベッドの使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

保管と移動

●保管について
組立てが終わった状態で保管する場合

※高温、多湿、ほこりの多い場所は避けてください。
※「あたま」「あし（3モーターのみ）」「たかさ」は手元スイッチで操作して最低位置まで下げてください。
※変形しますので、マットレスの上には物をのせないでください。
※立て掛けたり、横倒しにしないでください。
※取扱説明書は大切に保管してください。
※お使いになる場合には、「組立て後の点検」（p27）に従って点検してください。

●移動について
組立てが終わった状態で移動する場合

※背中、腰を痛めないように二人以上で運んでください。
※ベッドで療養されている方は移動していただき、寝具、マットレス、オプション（サイドレールなど）は取外してください。
※移動の際には、ヘッドボード・フットボードの受け金具を両手でしっかり持って行ってください。
※危険ですのでヘッドボード・フットボード、サイドレールホルダーなどは持たないでください。

※電源コード、手元スイッチ、電源プラグは、移動の前に、ある程度たばねてキズなどがつかないようにベッドに固定してください。

●分解して保管または移動する場合
ベッドの分解は販売店にご依頼されることをおすすめします。

仕様

	サイズ（幅）		シングルサイズ			セミダブルサイズ	
	タイプ（長さ）		ショート	レギュラー	ロング	レギュラー	ロング
ベッド本体	寸　法	ベッド全幅（mm）	960	960	960	1,060	1,060
		ベッド全長（mm）	2,020	2,100	2,240	2,100	2,240
		ボトム幅（mm）	890	890	890	990	990
		ボトム長さ（mm）	1,850	1,950	2,090	1,950	2,090
	総重量（kg）852R／853R	プラスチックボード	68.5／67.0	69.5／71.0	71.0／72.5	—	—
		DXボード	71.5／73.0	72.5／74.0	74.0／75.5	76.5／77.5	78.0／79.5
		EXボード	71.0／72.5	72.0／73.0	73.5／75.0	74.5／76.0	76.5／77.5
	床高（mm）		250～650（ゆかからボトム面まで）				
	モーター数　852R／853R		2モーター／3モーター				
	操作		手元スイッチ・ボタン操作				
	主な材質	ハイローベースユニット	スチール製・抗菌剤入り粉体塗装仕上げ・合成樹脂成形品				
		マザーユニット					
		フロント・リアユニット					
		各ボトム					
		ヘッド・フットボード	プラスチック	ポリエチレン			
			DX	高級化粧シート貼り			
			EX	天然木/高級化粧シート貼り			

	項目	仕様
背上げ	傾斜角度	0～70度
	電源	入力　AC100V　50／60Hz　出力　DC24V
	消費電力	最大約35W
	昇降時間	約21秒
	連続使用時間	約6分
	モーター形式	DCモーター
	保護等級	I.P.-54（IEC529準拠）

	項目	仕様
膝上げ	傾斜角度	0～40度
	電源	入力　AC100V　50／60Hz　出力　DC24V
	消費電力	最大約30W
	昇降時間	約15秒
	連続使用時間	約6分
	モーター形式	DCモーター
	保護等級	I.P.-54（IEC529準拠）

	項目	仕様
高さ調節	昇降距離	約400mm
	電源	入力　AC100V　50／60Hz　出力　DC24V
	消費電力	最大約50W
	昇降時間	約30秒
	連続使用時間	約6分
	モーター形式	DCモーター
	保護等級	I.P.-54（IEC529準拠）

●ケプロコア 850R シリーズ　モーターシステムの取得規格

1. マーク　日本電気用品取締法
2. TÜV RHINLANDドイツ技術検査協会
3. UL 米国保険業者検査協会
4. BS 英国規格協会
5. SEMKO　スウェーデン電気製品安全規格協会
6. DEMKO　デンマーク電気製品安全規格協会
7. NEMKO　ノルウェー電気製品安全規格協会
8. CEマーク　全ヨーロッパ安全指令

修理・お取り扱いお手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店、
レンタル取次店へお申し付けください。

【カスタマーサポートお問い合わせ窓口】

FreeCall 0120-20-1001（無料 ツーワ）　10月1日は福祉用具の日

シーホネンス株式会社　ケプロコア営業部

〒537-0001　大阪市東成区深江北3丁目10番17号　TEL（06）6981ー3432